INTEC
COMPONENT WORLD

オーディオCDレコーダー

CDR-201A

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

ONKYO®

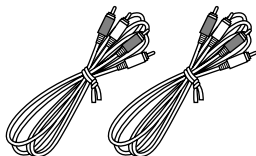
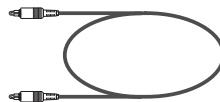
目　次

特長

- ■ 光デジタル入力端子2系統装備
- ■ デジタル/アナログ入力録音ボリューム搭載
- ■ 自動ファイナライズ機能
- ■ シグナルシンクロ録音
- ■ CDダビング機能
- ■ DLA Link機能
- ■ 32曲プログラムメモリー
- ■ サンプリングレートコンバーター搭載
- ■ システムコントロールリモコン連動機能（R-801Aのリモコンでコントロール可能）
- ■ CDテキスト対応
- ■ ディスクに名前をつけることができるネーム入力機能

付属品

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。(　)内の数字は数量を表しています。

- オーディオ用ピンコード(2)

- オーディオ用光デジタルケーブル(1)

- RIケーブル(1)

- リモコン(1)

- 乾電池（単3形）(2)

- 取扱説明書(本書1)
- 保証書(1)

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

● 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。

● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。
次の点に気を付けてご使用ください。

● 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。

● 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。

● テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。

● 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

● 本機の通風孔やディスク挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、機器の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますので、ご注意ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

■ 電源コンセントにはオーディオ機器以外接続しない

● 本機の電源コンセントはオーディオ機器専用です。表示された定格以内でご使用ください。表示された定格以上の機器やヘヤードライヤー、電気こたつなどの電熱器具、オーブン・レンジなどの調理器具は絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

- 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより火災・けがの原因となります。

⚠注意

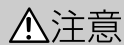
■ 設置上の注意

- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビ等の機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

⚠注意

■ 使用上の注意

指をはさまれない
ように注意

- お子様がディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力傷害を起こすことがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。
  磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、プラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセント
から抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■電池について

- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

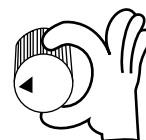
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
  本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

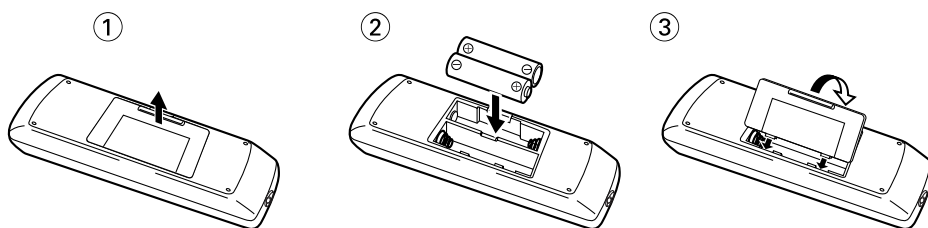
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
  化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

♪音のエチケット

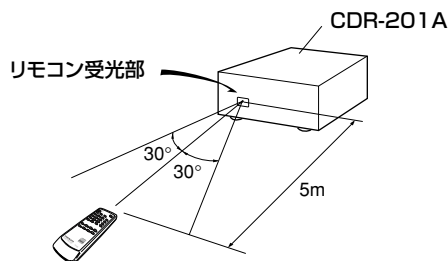
楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

リモコンの使い方

■ 本機付属のリモコン（RC-448C）

乾電池の入れ方と交換の仕方

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておくと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、ただちに古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単3型をご使用ください。

リモコンの使い方

本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

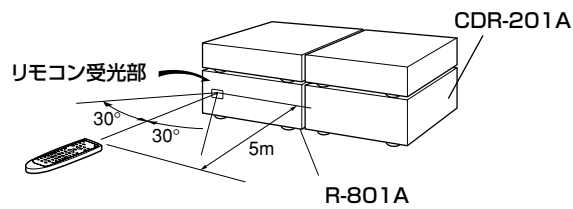
- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

リモコンの使い方

■ INTEC155シリーズR-801Aに付属のリモコン（RC-466S）で本機を操作できます。

- 詳細については、R-801Aの取扱説明書をご覧ください。

リモコンの使い方

アンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコン受光部
CDR-201A
30°
30°
5m
R-801A

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

デジタル録音時のルールについて

シリアルコピーマネージメントシステム

デジタル入力で録音したCD-RまたはCD-RWをさらにデジタル入力録音することはできません。本機は、シリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。「シリアルコピーマネージメントシステム」は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」するというデジタル信号どうしのコピーを「1回だけ」と規制したもので、3つの原則があります。

原則1

コンパクトディスク(CD)またはデジタルオーディオテープ(DAT)、ミニディスク(MD)ソフトから、CD-RまたはCD-RWへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。
ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したものを、他のCD-RまたはCD-RWへ、「デジタル信号のままデジタル入力録音」できません。

原則2

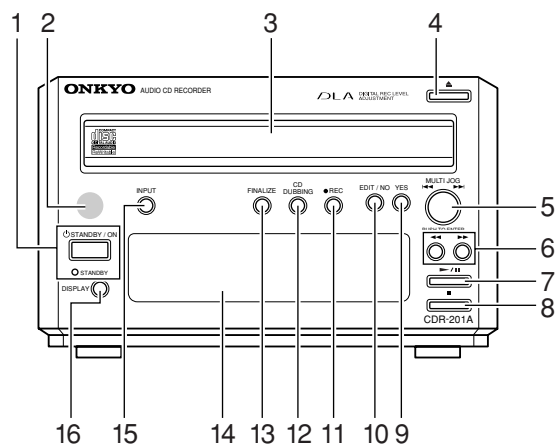
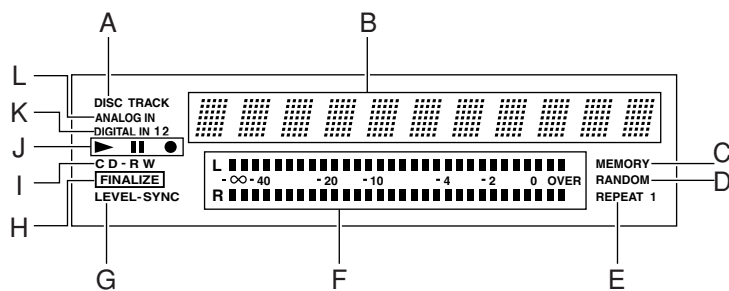
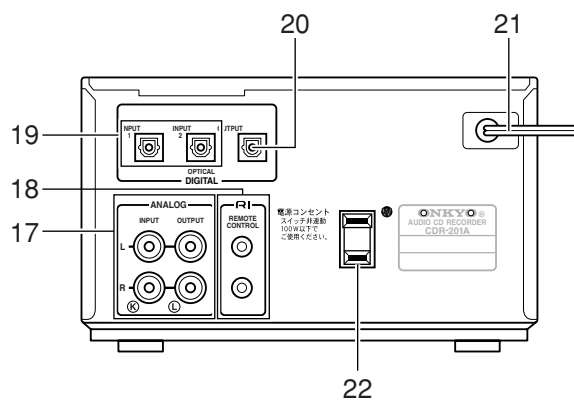
アナログレコードやFM放送などを本機で録音したCD-RまたはCD-RWから、他のCD-RまたはCD-RWへ、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」することができます。ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したCD-RまたはCD-RWから、他のCD-RまたはCD-RWへ、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。

CDレコーダーどうしをアナログ入出力端子につないだときは、何回でも録音できます。

原則3

DATデッキまたは32kHz、48kHzのサンプリング周波数に対応するCDレコーダーの場合、衛星放送のデジタル音声信号も、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。
この場合は、2回目も「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。ただし、BSチューナー(衛星放送受信機)によっては、2回目ができないことがあります。

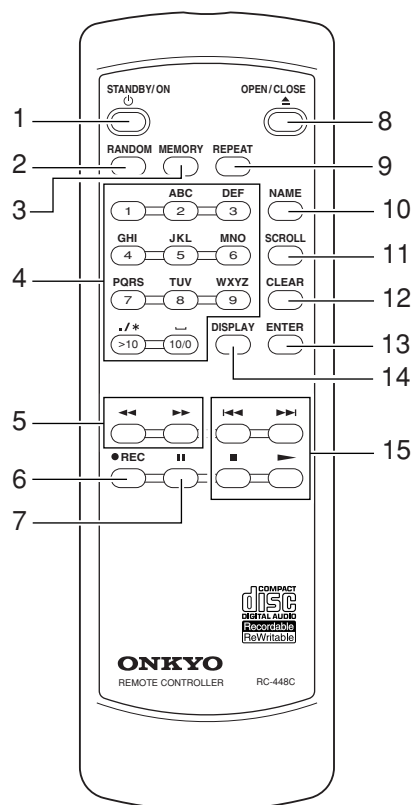
各部の名称と働き

前面パネル

表示部

後面パネル

[ ]内の数字は、参照ページを示しています。

前面パネル

1 **スタンバイ(STANDBY/ON)ボタンとスタンバイ(STANDBY)インジケーター[20]**
2 **リモコン受光部[9]**
3 **ディスクトレイ[20]**
4 **ディスクトレイ開/閉(⏏)ボタン[20]**
ディスクトレイを開閉します。
5 **I◀◀MULTI JOG▶▶Iつまみ[23]**
演奏中の曲番を前後に飛び越します。停止状態で押すと演奏を始める曲を選べます。
6 **早戻し/早送り(◀◀/ ▶▶)ボタン[46]**
演奏中のディスクを前後に早送りします。
7 **プレイ/ポーズ(▶/II)ボタン[28、46]**
アナログ録音/デジタル録音、演奏を始めます。演奏中に押すと一時停止状態になります。もう一度押すと、演奏状態に戻ります。
8 **ストップ(■)ボタン[46]**
録音または演奏を停止します。
9 **イエス(YES)ボタン[23]**
CDダビングモードなどの設定時、表示内容通りに決定するとき押します。
10 **エディット/ノー(EDIT/NO)ボタン[23]**
押すとCDダビング、ディスク内容の消去、名前の入力などの操作内容を表示します。操作内容を選ぶにはMULTI JOGつまみを回します。設定中は、表示された内容を取り消すときに押します。
11 **録音(●REC)ボタン[25]**
アナログ録音/デジタル録音時、録音待機状態にします。
12 **CDダビング(CD DUBBING)ボタン[23、24]**
CDダビングを始めます。
13 **ファイナライズ(FINALIZE)ボタン[24、41]**
録音済みのディスクをファイナライズします。また、ファイナライズ済みのディスクをアンファイナライズします。
14 **表示部**
A DISC/TRACK(ディスク/トラック)識別表示
B 表示部
C MEMORY(メモリー演奏)表示
D RANDOM(ランダム演奏)表示
E REPEAT 1(リピート/1曲リピート)表示
F ピークレベル表示
G LEVEL-SYNC(レベルシンク)表示
H FINALIZE(ファイナライズ)表示
I ディスク(CD/CD-R/CD-RW)識別表示
J ▶(演奏)/II(一時停止)/●(録音)表示
K DIGITAL IN 1/2(デジタル入力1/2)表示
L ANALOG IN(アナログ入力)表示
15 **入力切り換え(INPUT)ボタン[23]**
入力信号を切り換えます。
16 **ディスプレイ(DISPLAY)ボタン[35、37]**
押すたびに表示部の表示が切り換わります。

後面パネル

17 **ANALOG INPUT(REC)/OUTPUT (PLAY)(アナログ入力/出力)端子[17]**
18 **RI REMOTE CONTROL (リモートコントロール)端子[17]**
19 **DIGITAL INPUT 1/2 (光デジタル入力1/2)端子[17]**
20 **DIGITAL OUTPUT (光デジタル出力)端子[17]**
21 **電源コード[17]**
22 **電源コンセント[17]**

[ ]内の数字は、参照ページを示しています。

リモコンRC-448C

1　**電源（STANDBY/ON）ボタン[20]**
電源オン/スタンバイを切り換えます。

2　**ランダム（RANDOM）ボタン[47]**
ディスクを順序不同に演奏します。

3　**メモリー（MEMORY）ボタン[48]**
メモリー演奏の予約曲をするときに押します。メモリー演奏を始めるには、►ボタンを押します。

4　**数字ボタン[38、48]**
押したボタンの曲から演奏が始まります。予約曲を指定するときにも押します。
アルファベット/記号/数字/（1～10）ボタン[38]
ディスク名、曲名をつけるときに押します。

5　**◄◄/►►（早戻し/早送り）ボタン[38、46]**
演奏中のディスクを前後に早送りします。ディスクにつけた名前を修正するときは、カーソルを前後に移動します。

6　**録音（●REC）ボタン[25]**
アナログ録音/デジタル録音時、録音待機状態にします。

7　**ポーズ（❚❚）ボタン[46]**
演奏中に押すと一時停止状態になります。►ボタンを押すと、演奏状態に戻ります。

8　**ディスクトレイ開/閉（⏏OPEN/CLOSE）ボタン[20]**
ディスクトレイを開閉します。

9　**リピート（REPEAT）ボタン[47]**
ディスク全体または1曲をくり返し演奏します。

10　**ネーム（NAME）ボタン[36]**
ディスク名、曲名を入力する時と確定する時に押します。

11　**スクロール（SCROLL）ボタン**
ディスク名、曲名をスクロール表示します。

12　**クリア（CLEAR）ボタン[38、48]**
押すたびに、予約曲を最後の曲から取り消します。入力した文字を消去します。

13　**エンター（ENTER）ボタン[38]**
ディスク名、曲名を入力する時と確定する時に使用します。

14　**ディスプレイ（DISPLAY）ボタン[35、37]**
押すたびに表示窓の表示が切り換わります。

15　**オペレーションボタン**
ストップ（■）ボタン[30、46]
録音または演奏を停止します。
プレイ（►）ボタン[28、46]
アナログ録音/デジタル録音、演奏を始めます。
ダウン/アップ（I◄◄/►►I）ボタン[38、46]
演奏中の曲番を前後に飛び越します。停止状態で押すと演奏を始める曲を選べます。

リモコンRC-466Sの各部の名称と働きは、R-801Aの取扱説明書をご覧ください。

システム接続の流れ

■INTEC155シリーズ R-801A（チューナーアンプ）、C-701A（CDプレーヤー）、K-501A（テープデッキ）、MD-101A（MDレコーダー）と接続する場合

システム接続のしかた
（INTEC155シリーズの接続）

R-801Aの取扱説明書をご覧ください。

INTEC155シリーズの組み合わせでご使用になると、次のシステム機能を使うことができます。

オートパワーオン
本機の電源をオンにしたり再生を始めるとアンプの電源が自動的にオンになります。また本機を使用しないときは本機のみの電源をオフにすることができます。

ご注意
各機器の接続が正しくないとオートパワー機能は動作しません。オートパワーオン機能を働かせる場合は、各機器が正しく接続されていることを確認してください。

ダイレクトチェンジ
本機のプレイ/ポーズボタン（►/❚❚）を押すとアンプの入力がCDRに切り換わります。

リモコン操作
R-801Aに付属のリモコンで本機を操作することができます。

詳しくはR-801Aの取扱説明書をご覧ください。

タイマー操作
タイマー演奏ができます。

詳しくは本取扱説明書の４９ページおよびR-801Aの取扱説明書をご覧ください。

CDダビング
CDプレーヤーから本機への録音をワンタッチで行える機能です。

詳しくは本取扱説明書23、24ページをご覧ください。

CDシンクロ録音
本機を録音待機状態にしておけばCDプレーヤーのプレイ操作のみで録音が自動的に始まります。

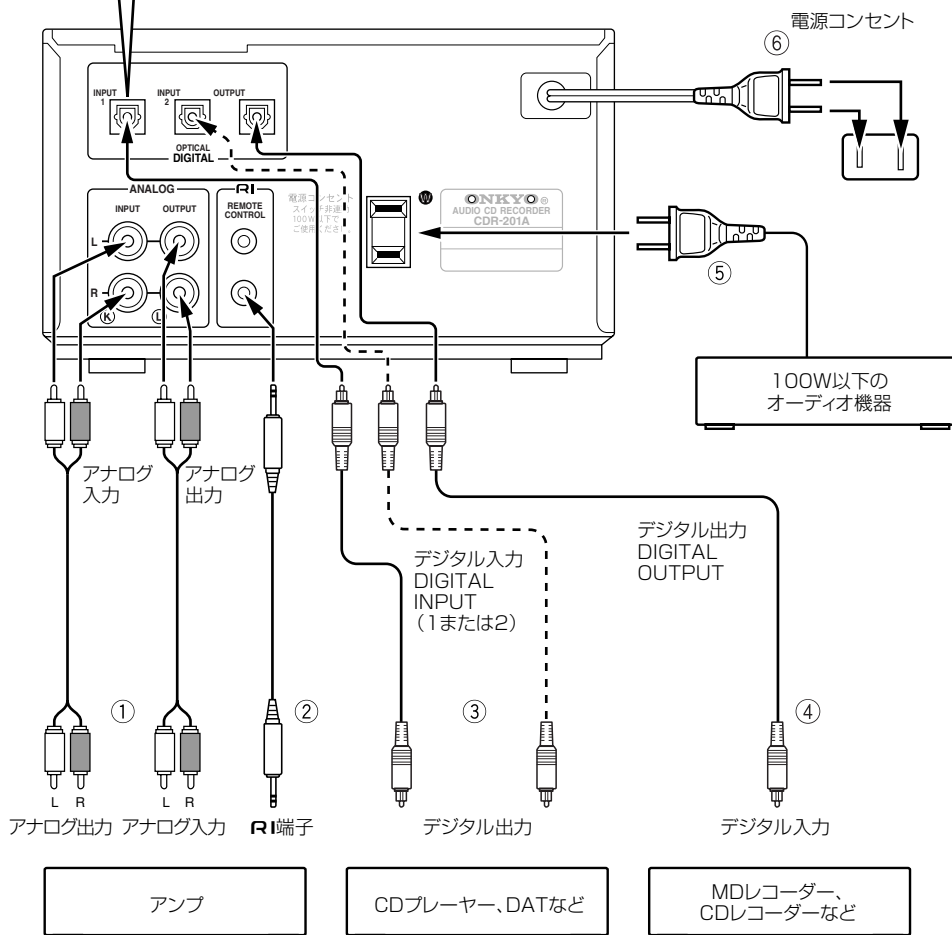
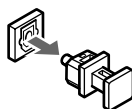
詳しくは本取扱説明書25、26ページをご覧ください。

MDとテープデッキからのシンクロ録音
本機を録音待機状態にしておけばテープデッキまたはMDレコーダーのプレイ操作のみで録音が自動的に始まります。

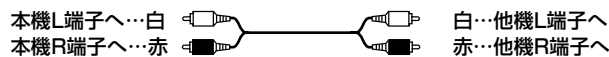
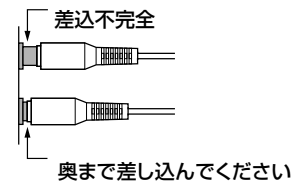
詳しくは本取扱説明書27ページをご覧ください。

他の機器との接続

■ 他の機器と接続する場合

本機は熱に弱い部品を使用していますので、アンプなどの上には置かないでください。
すべての接続が完了してから、電源プラグをコンセントに接続してください。

① チューナーアンプ（アンプ）との接続

チューナーアンプ（アンプ）のCDR、TAPEまたはMD端子に本機を接続してください。

- 付属のオーディオ用ピンコード（赤、白プラグ付きピンコード）を使用し、赤いプラグは（R）側に、白いプラグは（L）側に接続します。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因となります。
- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねると、音質低下の原因となります。

② RIケーブルの接続

- RI端子付きオンキヨー製品と、本機に付属のRIケーブルを使って、RI端子どうしを接続してください。
- RI端子は、RI端子付きオンキヨー製アンプと組み合わせた場合のみ使用できます。RI端子付きオンキヨー製品以外とは接続しないでください。故障の原因となります。
- RI端子の上下2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。
- RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

③ デジタル入力端子(DIGITAL INPUT)の接続

デジタル出力端子(OPTICAL)付きのCD(コンパクトディスクプレーヤー)やDAT(デジタルオーディオレコーダー)などと接続してデジタル録音ができます。
オーディオ用光デジタルケーブルでDIGITAL INPUT 1または2端子に接続してください。
また、この端子は、デジタル出力端子付きアンプとも接続できます。

ご注意

- 光デジタル入出力端子には、保護用キャップが取り付けられています。接続時は、このキャップを取り外してください。使用しない場合、キャップは必ずもとどおりに取り付けておいてください。
- 光デジタル入力端子を接続せずにデジタル録音はできません。（「D.In Unlock」が表示されます。）

④ デジタル出力端子（DIGITAL OUTPUT）の接続

デジタル入力端子（OPTICAL）付きのMD（ミニディスク）レコーダー、CDレコーダー、DAT（デジタルオーディオレコーダー）などと接続してデジタル録音ができます。また、デジタル入力端子（OPTICAL）付きアンプとも接続できます。

⑤ 本機の電源コンセントについて

オーディオ機器の電源プラグを差し込むことができます。

ご注意

- 本機のスイッチ非連動コンセント（容量合計100W 以下）は常時通電しています。
  容量を越える機器は絶対に接続しないでください
- 他機の電源コードの白いラインなど目印側を本機の電源コンセントの広い方（Ⓦ マーク側）に合わせてください。

⑥ 電源コードをつなぐ

電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。“STANDBY”インジケーターが点灯します。

使用できるディスクについて

本機で使用できるディスクについて

- CD-RとCD-RW

本機で録音する場合、下記マークのついたディスクを必ずお使いください。

 *1 *2

FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY
（上記いずれかの表示のあるディスク）
録音は上記マークのないディスクでは行なえません。

著作権使用料は、著作権法で制定されています。上記マークの付いたCD-R*1やCD-RW*2、また「FOR CONSUMER」「FOR CONSUMER USE」「FOR MUSIC USE ONLY」とあるディスクはすでに使用料が支払われているため、個人で楽しむ範囲内での音楽録音が許可されています。ただし、個人で楽しむ以外の目的でディスクを使用する場合には、権利者から許可を得る必要があります。

本機の推奨ディスクは
CD−R:TDK製（74分）
CD−RW:TDK製（74分）です。
また、評価、確認済みディスクは以下の通りです。（2001年5月現在）ただし、各メーカーの仕様の変更などにより、録音再生できない場合があります。

- 日立マクセル株式会社
- 富士フイルム株式会社
- 三井化成株式会社
- 三菱化学株式会社
- 太陽誘電株式会社
- パイオニア株式会社
- 日本ビクター株式会社
- ソニー株式会社

- CD

本機には右記マークの付いたCD（光学式デジタルオーディオディスク）をお使いください。

CD TEXTについて

CD TEXT とは、CDのディスクタイトル、トラックタイトル、アーティストネームなどの文字情報（アルファベット、記号、数字）のことです。
市販のCDでこれらの文字情報が記録されているものには下記のマークが付いています。

著作権についてのご注意

ラジオ放送番組、CD、レコード、音楽テープ、オリジナルカセットなどのメディアと音楽演奏は、音楽要素である歌詞とメロディが等しく著作権法によって保護されています。したがって、権利者の許諾なく上記の媒体を販売･譲渡･配付･リリース、また店舗などでBGMとして流すことも禁止されています。

CD-Rのファイナライズ処理

CD-Rは録音終了後、一般のCDプレーヤーで演奏できるようにするためにファイナライズ処理が必要です。ファイナライズすると、追加録音ができなくなります。

CD-RWについて

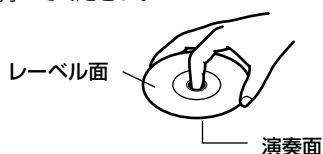
CD-RWは、ファイナライズ処理をしても一般のCDプレーヤーでは演奏ができません。CD-RW対応プレーヤーでのみ演奏が可能です。また、CD-RWはファイナライズ済みでも消去可能です。

ディスクについてのご注意

ハート形や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機械の故障の原因になることがあります。

パソコン用のCD-ROMなど音楽用ではないディスクは使用しないでください。異音の発生などで、スピーカーやアンプの故障の原因となります。

■ 取り扱いについて

演奏面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

演奏面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また、きずなどをつけないようにしてください。

■ レンタルCDの注意について

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

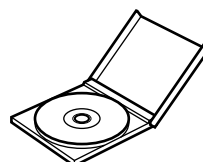
■ 8cm用CDアダプターは使用しないでください。

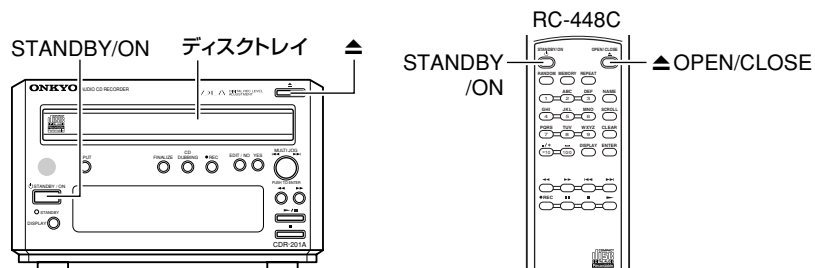
■ お手入れについて

汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、演奏面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。
アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

■ 保管上の注意について

直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

結露について
本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露と言います。そのままでは正常に動かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。
結露している場合は、電源を入れて1～2時間放置してからご使用ください。また、本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

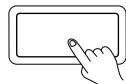
ディスクを入れる

1 電源を入れる

電源ボタン（STANDBY/ON）を押します。

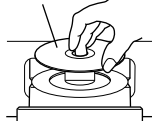
STANDBY / ON

スタンバイインジケーター（STANDBY）が消灯します。

2 ディスクトレイ開/閉（⏏）ボタンを押す

ディスクトレイが開きます。
ディスクはレーベル面（印刷面）を上にして、ディスクトレイの中央に置いてください。

3 ディスクトレイ開/閉（⏏）ボタンを押す

ディスクトレイが閉じます。

- プレイ/ポーズ（▶/❚❚）ボタン（リモコンの▶ボタン）を押しても、トレイが閉じます。
- スタンバイ状態からディスクトレイ開/閉（⏏）ボタン（リモコンの⏏OPEN/CLOSEボタン）を押すと、電源が入ります。R-801Aとシステム接続している場合、R-801Aの電源も入ります。
- ディスクを挿入すると、ディスクの種類を自動的に判別し、表示部に表示します。

ディスク識別表示

CD	市販の音楽CD ファイナライズ済みのCD-R
CD-R	未録音のCD-R 録音途中の（ファイナライズしていない）CD-R
CD-RW	未録音のCD-RW 録音途中の（ファイナライズしていない）CD-RW
CD-RW FINALIZE	ファイナライズ済みのCD-RW

- ディスクの種類に応じて、収録されている曲数や録音可能時間、演奏時間などを表示します。
  何も録音していないディスクの場合は、「Blank Disc」と表示されます。

録音モードについて

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先：(社) 私的録音補償金管理協会
Tel: 03-5353-0336

録音時のご注意

以下の場合は、録音（●REC）ボタンやCDダビング（CD DUBBING）ボタンを押しても録音できません。

- CD表示が点灯したとき（CDまたはファイナライズ済みCD-R挿入時）
- CD-RW表示とFINALIZE表示が点灯したとき（ファイナライズ済みCD-RW挿入時）
- ディスクの残り時間がなく、「Disc Full」と表示されたとき
- 99曲をすでに録音済みで、「Disc Full」と表示されたとき
- オーディオ用以外のディスクのとき「Pro Disc」と表示されたとき

オーディオ信号のみ録音できます。

本機はオーディオ信号の記録用（録音用）に設計されていますので、デジタル信号はオーディオ信号に限って録音が可能です。オーディオ信号以外のCD-ROMやドルビーデジタルなどのデータは記録できません。また、CDグラフィックやTEXT入りCDのようにその他の情報が含まれたディスクの場合も、オーディオ信号以外のデータは記録されません。

1曲の最小録音時間は4秒です。

CDは1曲が4秒以上でなけらばならないという決まりがあるため、録音開始後すぐにストップ（■）ボタンやポーズ（❚❚）ボタンを押しても、無音状態の4秒間のトラックが記録されてからでないと、再び録音を始めることができません。その間、その他の操作もできません。

デジタル録音中に録音できない信号が入力された場合。

「D.In Unlock」や「Cannot Copy」が表示され録音は中断します。その後録音可能な信号が入力されると録音を再開します

システム接続時の録音モード

本機をR-801A、C-701A、MD-101A、K-501Aとシステム接続した場合、次のような録音が可能です。

■ CDダビング（デジタル、☞23ページ）

音楽CDの全曲を、CD-RまたはCD-RWにデジタル録音します。
ダビング後に自動的にファイナライズするモードを選ぶこともできます。
ダビングモードは、EDITメニューで選びます。
アルバムモード：最後まで録音できる曲だけを録音します。
フェードアウトモード：最後まで録音できなかった曲をフェードアウト録音します。

■ 1曲CDダビング（デジタル、☞24ページ）

CDプレーヤーで演奏中（または一時停止中）の曲だけをワンタッチで録音できます。
ダビングモードは、現在設定されているモードになります。ただし、1曲CDダビング時は、アルバムモードを選んでいても、最後まで録音できなかった曲を消去せず、途中まで録音します。

■ シンクロ録音（☞25ページ）

本機をシステム接続した場合、次のような操作ができます。

- CDプレーヤーから本機へシンクロ録音する
- MDレコーダー/テープデッキから本機へシンクロ録音する（アナログ入力録音のみ）
- 本機からMDレコーダー/テープデッキへシンクロ録音する（アナログ入力録音のみ）

ご注意

CDダビング、1曲CDダビング、シンクロ録音には、本機のデジタル入力端子1にC-701Aからの光デジタルケーブルが接続されていることが必要です。システム接続については、R-801Aの取扱説明書をご覧ください。

録音中、ファイナライズ中、消去中および「PMA Writing」表示中は、電源を切らないでください。
誤って電源を切ってしまったり、停電になった場合は、ディスクが使用できなくなることがあります。
録音中、ファイナライズ中、消去中および「PMA Writing」表示中は、本機を揺らしたり、振動を与えたりしないでください。
音とびしたり、ディスクが使用できなくなることがあります。

一般的な録音モード

システム接続をせず、本機のアナログ入力端子または光デジタル入力端子に入力した信号を録音するには、次の方法があります。

■ アナログ入力を録音する（☞28ページ）

アナログ入力端子からの入力信号を録音します。
録音レベルは、手動で調整することができます。

■ デジタル入力を録音する（☞29ページ）

光デジタル入力端子からの入力信号を録音します。
録音レベルは、手動で調整することができます。
衛星放送などデジタル信号レベルの低いソースを録音するときに調整してください。

■ シグナルシンクロ録音（☞31ページ）

ポータブルMDプレーヤーやオンキヨー製品でRI端子のない製品と組み合わせて録音するときは、入力信号に同期して録音を始めることができます。

レベルシンク機能について（☞33ページ）

レベルシンク機能は、録音ソースの曲間を検出し、曲番を自動的につける機能です。

■ レベルシンクがオンのとき

曲番は自動的に更新されます。
また録音（● REC）ボタンを押してマニュアルで曲番を更新することもできます。

■ レベルシンクがオフのとき

曲番は自動的に更新されません。
録音（● REC）ボタンを押してマニュアルで曲番を更新します。

■ アナログ入力録音の場合

録音待機状態にすると、レベルシンク機能は自動的にオンになります。
曲間に2秒以上の無音部分のある録音ソースでは、自動的に曲番を更新します。

■ デジタル入力録音の場合

録音待機状態にすると、レベルシンク機能は自動的にオンになります。
曲番情報を含むデジタル信号では、自動的に曲番がつきます。衛星放送など曲間情報を含まないソースでは、2秒以上の無音部分を検出したのち、曲番を更新します。

ネーム機能について

■ ディスク名をつける（☞36ページ）

ディスク1枚につき、ディスク名をひとつつけることができます。

■ 曲名をつける（☞39ページ）

ディスク1枚につき、曲名を99曲までつけることができます。

■ 入力したディスク名、曲名を消去する（☞40ページ）

本機に記憶している名前をすべて消去します。

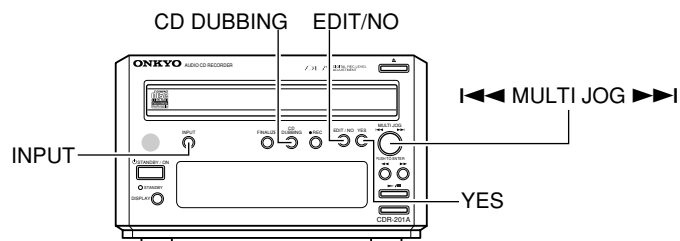
ファイナライズについて

ファイナライズとは、ディスクの特別なエリア(PMA)に記録されたTOC情報(曲番など)をディスクに書き込む操作です。ファイナライズ後、CD-RはCDプレーヤーでも演奏できる状態になります。CD-RWは、CD-RW対応のCDプレーヤーでしか演奏できません。
ファイナライズしたCD-Rディスクは、これ以上録音できません。

記録内容の消去について(CD-RWのみ)

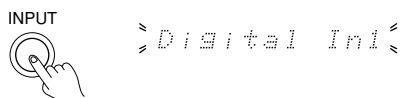
CD-RWディスクは、一度記録した内容を消去して何度も使うことができます。
消去の方法には、次のような種類があります。（☞42ページ）

- **ファイナライズしていないCD-RWの消去**
  最終曲消去:最終曲のみを消去します。
  全曲消去:ディスクのすべての曲を消去します。
- **ファイナライズ済みCD-RWの消去**
  全曲消去:ディスクのすべての曲を消去します。
  TOC消去:ファイナライズしたCD-RWディスクを、ファイナライズ前の状態に戻します。
- **ディスクの消去**
  ディスク上のすべての情報を消去します。

CDダビングする(システム操作)

音楽CDの全曲を、CD-RまたはCD-RWにデジタル録音します。
ダビングモードは、EDITメニューで選びます。

操作の準備

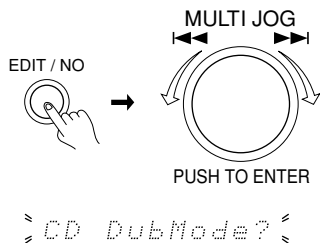
- 電源を入れる。(☞20ページ)
- CDプレーヤーに音楽CDを入れる。
  (C-701Aの取扱説明書をご覧ください。)
- 本機に録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れる。(☞20ページ)

1 入力切り換え(INPUT)ボタンをくり返し押して、「Digital In 1」を選ぶ

Digital In1

ご注意

「Digital In 2」または「Analog In」を選んだ場合、CDダビング機能は働きません。

2 エディット/ノー(EDIT/NO)ボタンを押し、MULTI JOGつまみを回して「CD DubMode?」を選ぶ

CD DubMode?

3 MULTI JOGつまみを押す

イエス(YES)ボタンを押しても操作できます。
現在のダビングモードが表示されます。

Album→Fade?

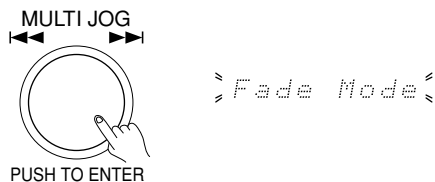
左側の表示が現在のモードです。(上記の場合は、Albumモード)

Album: 最後まで録音できる曲だけを録音します。(アルバムモード)CD-RWの場合は録音できなかった曲を消去します。

Fade: 最後まで録音できなかった曲をフェードアウト録音します。(フェードアウトモード)

4 ダビングモードを切り換えるときは、MULTI JOGボタンを押す

イエス(YES)ボタンを押しても操作できます。
ダビングモードが設定されます。
元の設定のままにするときは、エディット/ノー(EDIT/NO)ボタンを押します。

Fade Mode

5 CDダビング（CD DUBBING）ボタンを押す

CDダビングがスタートします。

CD
DUBBING

CDダビング時、レベルシンクはオンになります。CDプレーヤーがピークサーチを開始し、本機はピーク値に合った最適な録音レベルを設定します。（DLA* Link 2機能）
その後、音楽CDの1曲目から全曲をデジタル録音します。

自動ファイナライズについて

自動ファイナライズ機能を働かせるには、録音中にファイナライズ（FINALIZE）ボタンを押して、「Auto On」を表示させます。(FINALIZE表示が点滅します。) CDダビング終了後に自動的にファイナライズが始まります。

ご注意

自動ファイナライズは、CDダビング終了後自動的に始まりますが、以下のように録音を途中で中断した場合は働きません。

- ストップ（■）ボタンを押して本機を停止させたとき。
- システム接続しているチューナーアンプ（R-801A）の電源をオフにしたときや、設定したスリープタイマーが作動して電源がオフになったとき。

録音中に自動ファイナライズを解除するには

ファイナライズ（FINALIZE）ボタンをくり返し押して「Auto Off」を表示させます。(FINALIZE表示が消灯します。)

CDの演奏が終わると

本機は自動的に停止します。（停止後ファイナライズするには、ファイナライズ（FINALIZE）ボタンを押します。）
自動ファイナライズ設定を「On」にしたときは、ファイナライズ終了後停止します。

CDダビング中にダビングモードの設定を確認するには

CDダビング（CD DUBBING）ボタンを押します。

録音を途中で止めるには

ストップ（■）ボタンを押します。

* DLAは、Digital Rec Level Adjustmentの略です。

1曲だけCDダビングする

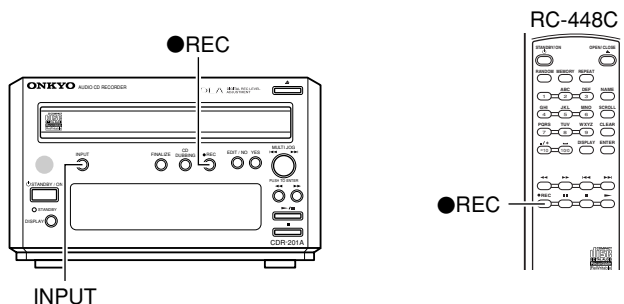
本機をシステム接続した場合は、CDプレーヤーで演奏中（または一時停止中）の曲だけをワンタッチで録音できます。

1 CDプレーヤーでCDを演奏する

2 録音したい曲の演奏中に、CDダビング（CD DUBBING）ボタンを押す

CDダビングがスタートします。
CDは演奏中の曲の頭に戻り、その曲内でのピークサーチを行い、本機はピーク値に合った最適な録音レベルを設定します。その後録音を開始します。
1曲の録音が終わると、本機は自動的に停止し、CDプレーヤーは次の曲の演奏を続けます。

ダビングモードは、現在設定されているモードになります。ただし、CD-RWを使っての1曲CDダビング時は、Albumモードを選んでいても、最後まで録音できなかった場合も曲を消去せず、途中まで録音します。

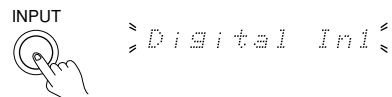
シンクロ録音する（システム操作）

本機をシステム接続した場合、次のような操作ができます。

- CDプレーヤーから本機へシンクロ録音する
- MDレコーダーまたはテープデッキから本機へシンクロ録音する
- 本機からMDレコーダーまたはテープデッキへシンクロ録音する

CDプレーヤーから本機へシンクロ録音する

操作の準備

- 電源を入れる。（☞20ページ）
- CDプレーヤーに音楽CDを入れる。（C-701Aの取扱説明書をご覧ください。）
- 本機に録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れる。（☞20ページ）

1 入力切り換え（INPUT）ボタンをくり返し押して、「Digital In 1」を選ぶ

アナログ入力を録音するときは、「Analog In」を選びます。
録音レベルを調整しない場合は、手順 3へすすんでください。

ご注意

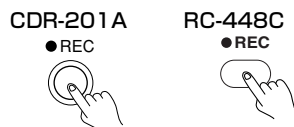
「Digital In 2」を選んだ場合、CDシンクロ機能は働きません。

2 CDプレーヤーのプレイ（►）ボタンを押して演奏する

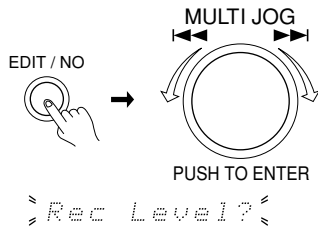
3 録音（●REC）ボタン（リモコンの録音（●REC）ボタン）を押す

「Rec Setup」表示後、時間表示になります。（録音待機状態）

CDR-201A

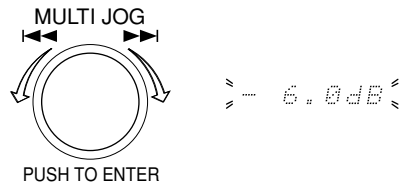
RC-448C

録音レベルを調整しない場合は、手順 6へすすんでください。

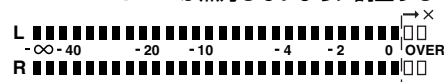
4 録音レベルを調整する

(1) エディット/ノー（EDIT/NO）ボタンを押し、MULTI JOGつまみを回して「Rec Level?」を選ぶ

(2) MULTI JOGつまみを押す

イエス（YES)ボタンを押しても操作できます。調整をしないときは、エディット/ノー（EDIT/NO)ボタンを押します。

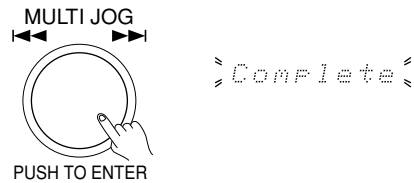
(3) MULTI JOGつまみを回して、録音レベルを調整する

録音レベルが−∞dBから+18dBの範囲で表示されます。

入力レベルがもっとも大きいときに表示部のピークレベル表示の「OVER」が点灯しないように調整してください。「OVER」が点灯すると音が歪みます。

OVERが点灯しないように調整する

デジタル入力を録音する場合

録音レベルを変化させてもDIGITAL OUT端子からのモニター音のレベルは変化しません。

(4) 録音レベの調整が終了したらMULTI JOGつまみを押す

イエス（YES)ボタンを押しても操作できます。

5 CDプレーヤーを停止する

6 CDプレーヤーのプレイ（►）ボタンを押して録音したい曲を演奏する

CDの演奏と本機の録音が始まります。

Synchro Rec

CDの演奏が終わると

本機は録音待機状態に戻ります。

CDシンクロ録音を途中で止めるには

CDの演奏を停止します。本機は録音待機状態になります。

ご注意

アナログ入力録音時は、アンプの入力切り換えツマミをCDの位置に合わせ、録音中に切り換えないでください。切り換えると、本機は録音待機状態になります。

MDレコーダーまたはテープデッキから本機へシンクロ録音する

操作の準備

- 電源を入れる。(☞20ページ)
- MDレコーダーまたはテープデッキにMDまたはカセットを入れる。(MD-101AまたはK-501Aの取扱説明書をご覧ください。)
- 本機に録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れる。(☞20ページ)

1 入力切り換え(INPUT)ボタンをくり返し押して、「Analog In」を選ぶ

INPUT

録音レベルを調整しない場合は、手順 3へすすんでください。

ご注意

- MDレコーダーまたはテープデッキから録音するときは、「Analog In」を選びます。
- 「Digital In 1」または「Digital In 2」を選んだ場合、シンクロ録音機能は働きません。

2 MDまたはテープを再生する

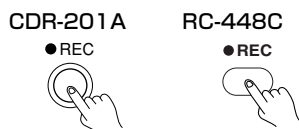
3 録音(●REC)ボタン(リモコンの録音(●REC)ボタン)を押す

「Rec Setup」表示後、時間表示になります(録音待機状態)。

CDR-201A

●REC

RC-448C

●REC

録音レベルを調整しない場合は、手順 6へすすんでください。

4 録音レベルを調整する

26ページ、手順 4「録音レベルを調整する」をご覧ください。

5 MDまたはテープを停止する

6 MDレコーダーまたはテープデッキのプレイ(►)ボタンを押す

テープの演奏と本機の録音が始まります。

MDまたはテープの演奏が終わると

本機は録音待機状態に戻ります。

シンクロ録音を途中で止めるには

MDレコーダーまたはテープデッキの演奏を停止します。

本機からMDレコーダーまたはテープデッキへシンクロ録音する

操作の準備

- 電源を入れる。(☞20ページ)
- MDレコーダーまたはテープデッキにMDまたはカセットを入れる。(MD-101AまたはK-501Aの取扱説明書をご覧ください。)
- 本機に演奏可能なCD、CD-RまたはCD-RWを入れる。(☞20ページ)

1 MDレコーダーまたはカセットデッキを録音待機状態にする

2 本機の►/❚❚ボタン(リモコンのプレイ(►)ボタン)を押す

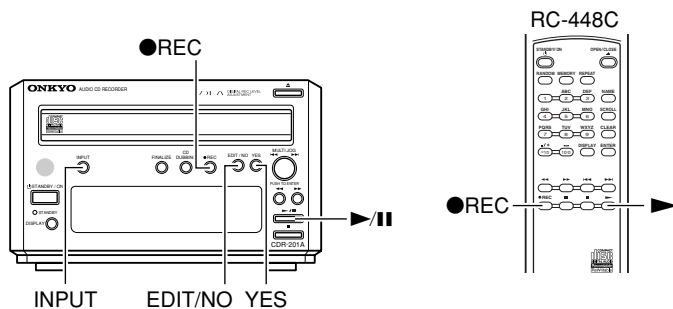
本機の演奏とMDレコーダーまたはテープデッキの録音が始まります。

本機の演奏が終わると

MDレコーダーまたはテープデッキは録音待機状態に戻ります。

シンクロ録音を途中で止めるには

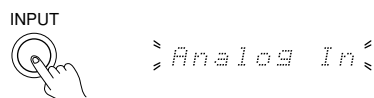
本機の演奏を停止します。

アナログ入力を録音する

本機のアナログ入力端子からの入力信号を録音します。録音レベルは、手動で調整することができます。

操作の準備

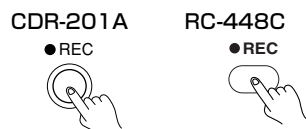
- 電源を入れる。(☞20ページ)
- 本機に録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れる。(☞20ページ)
- アンプの入力切り換えつまみや録音選択ボタンが、録音ソース位置になっていることを確認する。

1 入力切り換え（INPUT）ボタンをくり返し押して、「Analog In」を選ぶ

Analog In

録音レベルを調整しない場合は、手順3にすすんでください。

2 録音ソースを演奏する

3 録音（●REC）ボタン（リモコンの録音（●REC）ボタン）を押す

レベルシンクはオンになります。
「Rec Setup」が表示された後、時間表示になります。(録音待機状態)

CDR-201A

RC-448C

録音レベルを調整しない場合は、手順6にすすんでください。

4 録音レベルを調整する

26ページ、手順 4「録音レベルを調整する」をご覧ください。

5 録音ソースの演奏を停止する

6 プレイ/ポーズ（►/II）ボタン（リモコンのプレイ（►）ボタン）を押してから、録音ソースの演奏を始める

録音が始まります。ディスクの最後まで録音すると、本機は停止します。

手動で曲番を付けるには

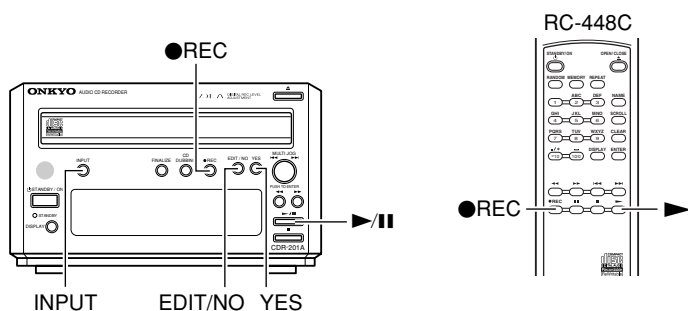
録音中に録音(●REC)ボタンを押します。

録音を一時停止するには

プレイ/ポーズ(►/II)ボタン(リモコンのポーズ(II)ボタン)を押します。再び録音するには、時間表示が出てからプレイ/ポーズ(►/II)ボタン(リモコンのプレイ(►)ボタン)を押します。録音待機状態が10分以上続くと停止状態になります。

録音を途中で止めるには

ストップ(■)ボタンを押します。

デジタル入力を録音する

本機の光デジタルからの入力信号を録音します。
曲番は録音ソースのまま記録されます。
録音レベルは、手動で調整することができます。

録音できるデジタルソース

本機はサンプリングレートコンバーターを搭載しており、次のサンプリング周波数のデジタル信号を録音できます。

- 44.1kHz（CDなど）
- 32kHz（DAT、衛星放送など）
- 48kHz（DAT、衛星放送など）

ご注意

- HDCDをデジタル録音するときは、本ページの方法またはシグナルシンクロ録音やシンクロ録音で行ってください。またこのときは、必ず録音レベルを0dBに調整してください。（☞26ページ）
  CDダビングボタンによるCDダビングでは、録音レベルを自動設定（DLA）するため、正常に録音できないことがあります。
- DTS CDからのデジタル録音はできません。

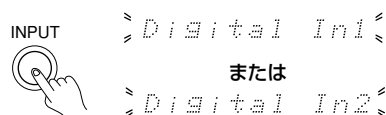
操作の準備

- 電源を入れる。（☞20ページ）
- 本機に録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れる。（☞20ページ）
- アンプの入力切り換えつまみや録音選択ボタンが、録音ソース位置になっていることを確認する。

1 入力切り換え（INPUT）ボタンをくり返し押して、「Digital In 1」または「Digital In 2」を選ぶ

Digital In1

または

Digital In2

録音レベルを調整しない場合は、手順3にすすんでください。

どちらの入力端子に光デジタルケーブルが接続されているかを確認してください。

2 録音ソースを演奏する

3 録音（●REC）ボタン（リモコンの録音（●REC）ボタン）を押す

レベルシンクはオンになります
Rec Setup表示後、時間表示になります
（録音待機状態）。

CDR-201A　　RC-448C

録音レベルを調整しない場合は、手順6にすすんでください。

ご注意

光デジタルケーブルが接続されていないと、「D.In Unlock」と表示されます。

4 録音レベルを調整する

26ページ、手順 4「録音レベルを調整する」をご覧ください。

5 録音ソースの演奏を停止する

6 プレイ/ポーズ（►/❚❚）ボタン（リモコンのプレイ（►）ボタン）を押してから、録音ソースの演奏を始める

録音が始まります。
曲番は自動的に記録されます。ディスクの最後まで録音すると、本機は停止します。

録音を一時停止するには

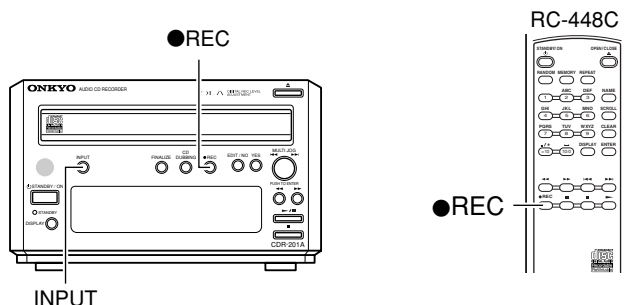
プレイ/ポーズ（►/❚❚）ボタン（リモコンのポーズ（❚❚）ボタン）を押します。再び録音するには、時間表示が出てからプレイ/ポーズ（►/❚❚）ボタン（リモコンのプレイ（►）ボタン）を押します。

録音を途中で止めるには

ストップ（■）ボタンを押します。

ご注意

- 衛星放送をデジタル録音する場合、トラック番号が正確に更新されない場合があります。この場合は、レベルシンクをオフにして手動で曲番をつけてください。（☞33ページ）
- 曲間が極端に短いときは、曲番が更新されない場合があります。

入力信号を検知してシンクロ録音する（シグナルシンクロ録音）

ポータブルMDプレーヤーやRI端子のない製品と組み合わせて録音するときは、信号入力に同期して録音を始めることができます。

ご注意

デジタル入力をシンクロ録音する場合

- DATのスタートIDが音声の前に入力されていない場合は、録音できません。
- 演奏側プレーヤーのデジタル出力の中に含まれるサブコード信号を利用して録音を行いますので、一部のCDプレーヤーやMDレコーダーなどでは、デジタルシンクロ録音が正しく動作されない場合があります。
- クラシック音楽のような静かな曲をアナログ入力でシグナルシンクロ録音する場合、正確に録音が始まらないことがあります。その場合は、手動で録音してください。(☞28ページ「アナログ入力を録音する」)

操作の準備

- 電源を入れる。(☞20ページ)
- 本機に録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れる。(☞20ページ)
- アンプの入力切り換えつまみや録音選択ボタンが、録音ソース位置になっていることを確認する。

1 **入力切り換え（INPUT）ボタンをくり返し押して、入力信号を選ぶ**

「Digital In 1」、「Digital In 2」または「Analog In」を選択します。

録音レベルを調整しない場合は、手順3にすすんでください。

2 **録音ソースを演奏する**

3 **録音（●REC）ボタン（リモコンの録音（●REC）ボタン）を押す**

Rec Setup表示後、時間表示になります（録音待機状態）。

録音レベルを調整しない場合は、手順6にすすんでください。

入力信号を検知してシンクロ録音する（シグナルシンクロ録音）

4 録音レベルを調整する

26ページ、手順 4「録音レベルを調整する」をご覧ください。

5 録音ソースの演奏を停止する

6 録音（●REC）ボタン（リモコンの録音（●REC）ボタン）を押す

本機が入力待ち状態になり、「Signal Rec」と表示されたあと、「Signal Wait」表示と時間表示が交互に表示されます。

CDR-201A　　RC-448C

7 本機の「Signal Wait」⇔「時間（0m00s）」表示が点滅していることを確認し、録音ソースの演奏を始める

録音が始まります。

シグナルシンクロ録音時のご注意

- アナログ入力録音時、レベルシンクがオンになっているときは、2秒以上の無音を検出し、その後音声が入力されると曲番が更新されます。
- 「Signal Wait」が、1分間続くと、シグナルシンクロ録音は解除され、停止状態になります。
- シグナルシンクロ録音（デジタル入力時）中に「D.In Unlock」が表示されたときは、シグナルシンクロ録音は解除され、録音待機状態になります。

レベルシンク機能をつかう

レベルシンク機能をつかう

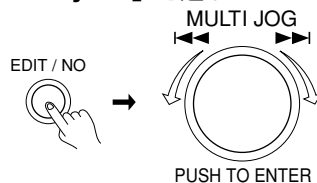
録音時は、レベルシンクはオンになっていますので、曲番は自動的につきます。また、録音（●REC）（リモコンの録音（●REC）ボタン）を押して、手動で曲番をつけることもできます。
録音中に自動的に曲番がつかないようにするには、レベルシンク機能をオフに設定します。
以下のような場合など曲番がうまく更新されないときは、レベルシンク機能をオフにして、手動で曲番をつけてください。

アナログ録音時

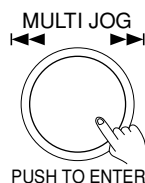
- レベルシンクをオンにしているとき、録音ソースのレベルで曲の切れ目を検出するため、次のような場合は曲番が正しくつかないことがあります。
- カセットテープの記録状態が悪い。（曲と曲の間にノイズがある場合など）
- クラシック音楽などで小さい音が続いている。
- 曲と曲の間が非常に短い。
- チューナーの受信感度が悪い。（ノイズなど）
- レコードプレーヤーから録音するとき。
- レベルシンクがオンのとき、無信号が約1分間続くと録音が停止します。

デジタル録音時

- 衛星放送をデジタル録音する場合、トラック番号が正確に更新されない場合があります。この場合は、レベルシンクをオフにして手動で曲番をつけてください。
- 曲間が極端に短いときは、曲番が更新されない場合があります。
- レベルシンクがオンのとき、無信号が約1分間続くと録音が停止します。ただし、CDなどはそのまま録音を続けます。

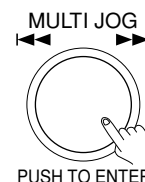
1 録音待機中に、エディット/ノー（EDIT/NO）ボタンを押して、MULTI JOGつまみを回して「Level Sync?」を選ぶ

Level Sync?

ご注意
録音中は設定できません。

2 MULTI JOGつまみを押す

イエス（YES）ボタンでも操作できます。

現在の設定が表示されます。
左側の表示が現在の設定です。
（図の場合は、オン）

3 MULTI JOGつまみを押す

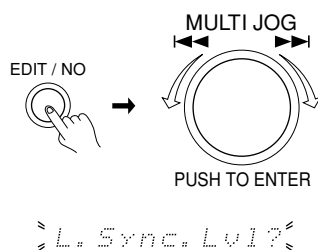
イエス（YES）ボタンでも操作できます。
レベルシンクがオフになります。
ディット/ノー（EDIT/NO）ボタンを押すと、元の設定に戻ります。

自動で曲番をつける設定に戻すには

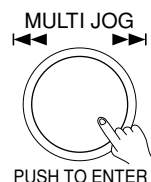
設定をオンにします。
手順1〜3を行い、手順2で「Off→On」が表示され、手順3では「L. Sync On」が表示されます。

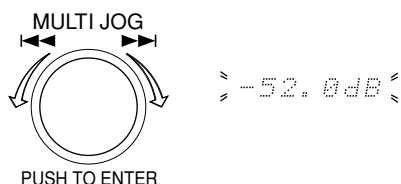
レベルシンクレベルの設定をする

レベルシンクがオンのときは、録音中に音楽信号やデジタル信号の検出によって、曲番が自動的に更新されます。本機では、曲の切り換わりを判別する音の検出レベルを設定することができます。

1 エディット/ノー（EDIT/NO）ボタンを押して、MULTI JOGつまみを回し、「L. Sync. Lvl?」を選ぶ

L. Sync. Lvl?

2 MULTI JOGつまみを押す

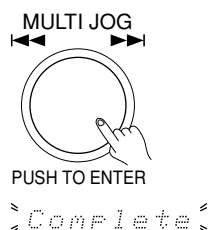
イエス（YES）ボタンでも操作できます。

現在の設定が表示されます。

3 MULTI JOGつまみを回してレベルを選ぶ

−30dBから−60dBの範囲で2dBごとに選べます。

4 MULTI JOGつまみを押す

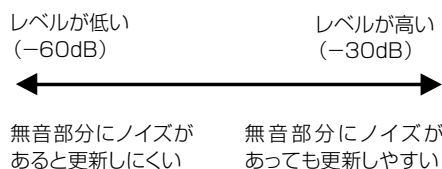
イエス（YES）ボタンでも操作できます。

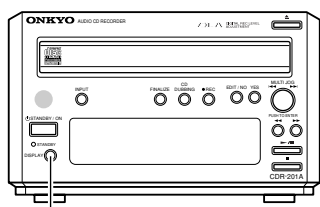
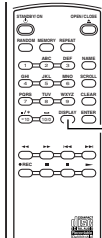
Complete

ヒント

- 初期設定は、アナログ録音時は−46dB、デジタル録音時は−52dBです。
- レベル設定は、各入力ごとに設定できます。
- 録音ソースの曲間（無音部分）で曲番が更新されないときは、設定レベルを高くしてください。また、曲間でないところで曲番が更新されるときは、設定レベルを低くしてください。

レベルが低い（−60dB）　　レベルが高い（−30dB）

無音部分にノイズがあると更新しにくい　　無音部分にノイズがあっても更新しやすい

ご注意

- この設定は、CD、MD、DAT以外のデジタル録音時およびアナログ録音時に有効です。
- 録音中は設定できません。
- 調整しても正確に曲番が更新されない場合があります。

表示を切り換える

録音中・停止中・再生中の表示

ディスプレイ（DISPLAY）ボタンを押すと、次のように表示が切り換わります。

■ 録音中の表示

録音中の曲番と経過時間

↓

録音可能な残り時間

↓

曲名（なければ曲番とNo Name）

↓

（元に戻る）

■ 停止中の表示

ディスクの総曲数と総演奏時間

↓

録音可能な残り時間（CDとファイナライズ済みのディスクの場合は表示されません）

↓

ディスク名（なければNo Name）

↓

（元に戻る）

■ 再生中の表示

再生中の曲番と経過時間

↓

再生中の曲番と曲の残り時間

↓

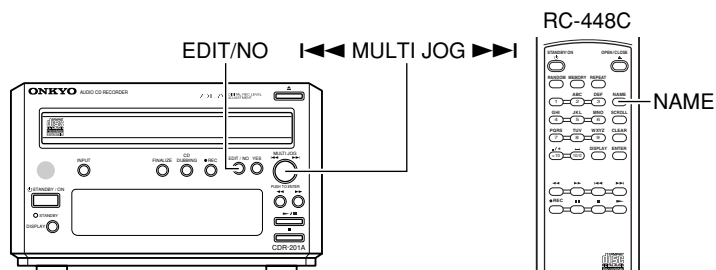
ディスクの総演奏時間の残り時間（ランダム再生時は表示されません）

↓

曲名（なければ曲番とNo Name）

↓

（元に戻る）

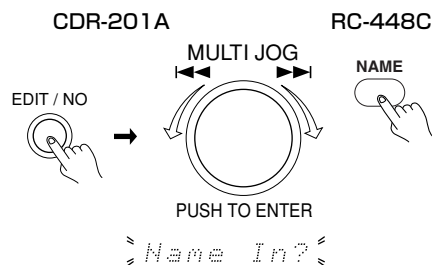
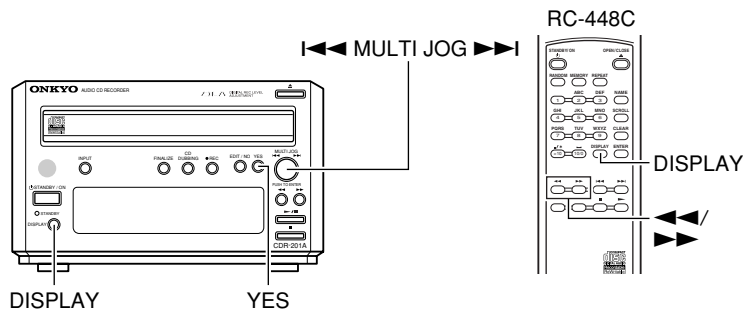
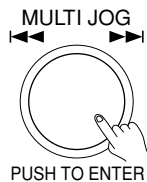
名前をつける

ネーム機能について

- 名前入力ができるディスクは、ファイナライズされていないCD-R またはCD-RWです。ファイナライズされたディスクには入力できません。
- 入力できるのは、ディスク名および曲名です。
- 入力できる名前の数と文字数について
  ディスク1枚につきディスク名はひとつ、曲名は99曲まで入力できます。
  ひとつの名前に対して24文字まで、1枚のディスクに対して1000文字まで入力できます。
- 入力した名前をディスクに書き込むためにはファイナライズが必要です。(入力された名前はいったん本機に記憶され、ファイナライズするとディスクに書き込まれます。)

ディスク名をつける

ディスク名をつけるときは、本機を停止状態にしてください。

1 エディット/ノー（EDIT/NO）ボタンを押してから、MULTI JOGつまみを回して「Name In?」を表示させる

中止したいときはエディット/ノー（EDIT/NO）ボタンまたはストップ（■）ボタンを押します。

CDR-201A　　RC-448C

リモコンでは、ネーム（NAME）ボタンを押します。押すと手順3の状態になります。

RC-448C

⏮◀◀ MULTI JOG ▶▶⏭

DISPLAY　YES

DISPLAY

◀◀/
▶▶

2 MULTI JOGつまみを押す

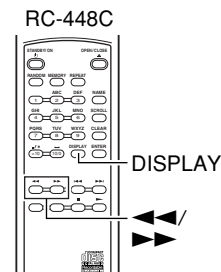
MULTI JOG

PUSH TO ENTER

イエス（YES)ボタンを押しても操作できます。カーソルが点滅します。カーソル点滅中にネーム入力を中止するときは、エディット/ノー(EDIT/NO)ボタンを押しながらイエス（YES)ボタンを押す、またはストップ（■）ボタンを押してください。

3 文字を入力する

(1)ディスプレイ（DISPLAY）ボタンを押して入力したい文字の種類を選ぶ

CDR-201A　　RC-448C

ディスプレイ（DISPLAY）ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。

アルファベット大文字(表示:A)

↓

アルファベット小文字(表示:a)

↓

英数字記号(表示:1)

↓

カンタンネーム(表示:♪)

また、リモコンのスクロール（SCROLL）ボタンを押しても、文字の種類を切り換えることができます。（カンタンネーム→英数字記号→アルファベット小文字→アルファベット大文字）

入力できる文字,記号の種類

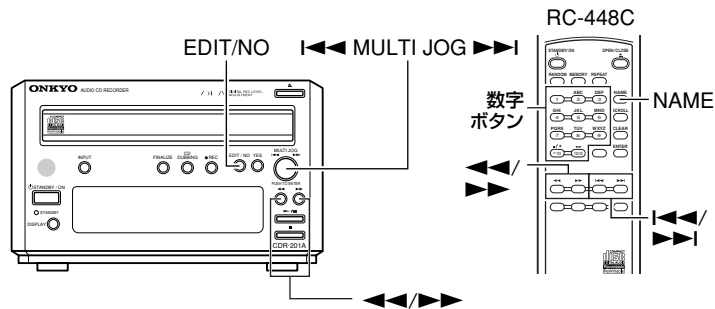
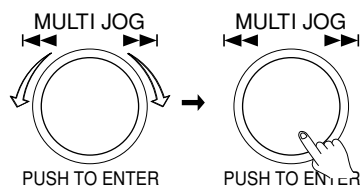
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9＿ ＠'<>＃＄％＆ ＊＝;:＋－/（ ）？!'",.（空白）⧓（挿入）

入力できるカンタンネーム

BALLAD、BLUES、CLASSIC、DANCE、FUSION、JAZZ、LIVE、POPS、REGGAE、ROCK、SOUL、TECHNO、VOCAL、African、American、Asian、British、Euro、German、Japanese、Anthology、Best of *、Collection、Favorite、Happy、Heavy、Hit Songs、Omnibus、Selection、Special、Super、（空白）

* ofの後ろには空白が1文字分入ります。

(2) MULTI JOGつまみを回して入力したい文字を選び、MULTI JOGつまみを押して決定する

文字の種類を変更したいときは

手順3(1)に戻ってディスプレイ（DISPLAY）ボタンを押して切り換えてから、MULTI JOGつまみを回して文字を選び押して決定します。

リモコン(RC-448C)を使って入力するには

- アルファベットを入力する
  数字ボタンを押すごとに記載されている文字が切り替わり表示されます。たとえば2/ABCボタンは押すごとにA→B→C→Aと切り替わりますので、希望の文字を表示させてENTERボタンを押してください。
- カンタンネームを入力する
  数字ボタンを押すごとに記載されている文字が頭文字のカンタンネームが切り替わり表示されます。たとえば、2/ABCボタンは押すごとにBALLAD、BLUES、CLASSICなどと切り替わりますので、希望のカンタンネームを表示させてENTERボタンを押してください。
- 英数字記号を入力する
  数字ボタンを押すと数字が表示されます。また、>10/./*ボタンと10/0/-ボタンは、押すごとに記載されている記号が切り替わります。（>10/./*ボタンは、. / * - , ! ? ' ( ) 、10/0/-ボタンは、_（スペース）が入力できます。）
  希望の数字または記号を表示させてENTERボタンを押してください。

また、リモコンのI◀◀または▶▶Iボタンを押して文字を選び、ENTERボタンを押して決定して入力することもできます。

ご注意

リモコンでの記号の入力について
リモコンの数字ボタンではすべての記号を入力することはできません。
記号の入力は、リモコンのI◀◀または▶▶Iボタンを押して選んでください。

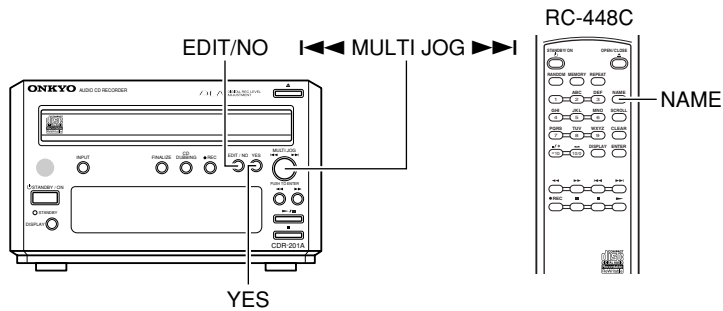
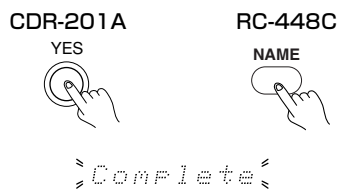
入力した文字を修正するには

本機またはリモコンの◀◀または▶▶ボタンを押して修正したい文字を点滅させてあらためて入力します。

文字を挿入するには

本機またはリモコンの◀◀または▶▶ボタンを押して挿入したい位置を点滅させます。次にMULTI JOGつまみを左に回して▶◀を点滅させ、つまみを押します。その位置でカーソルが点滅しますので、あらためて入力します。

文字を削除するには

本機またはリモコンの◀◀または▶▶ボタンを押して、削除したい文字を点滅させます。次にEDIT/NOボタンまたはリモコンのクリア（CLEAR）ボタンを押します。

4 YESボタンを押して入力を終了する

リモコン(RC-448C)ではネーム（NAME）ボタンを押します。

入力された名前をディスクに書き込むには

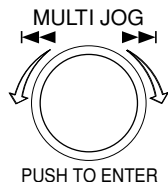
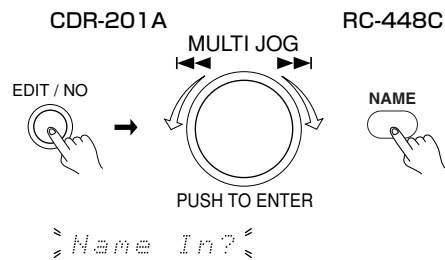
ファイナライズしてください。
入力された名前はいったん本機に記憶され、ファイナライズするとディスクに書き込まれます。
また、下記ご注意もお読みください。

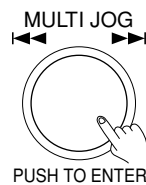
ご注意

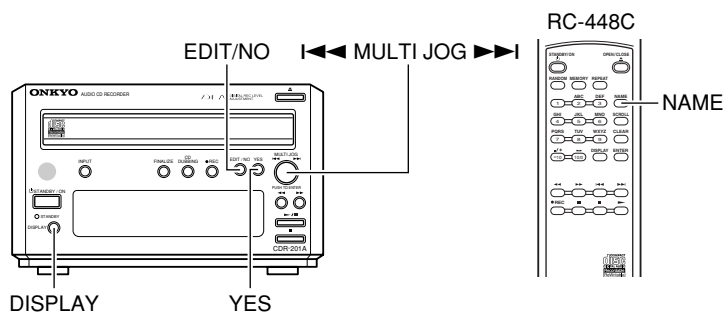
入力された名前は、ファイナライズしないでディスクを取り出した場合、保持されません。再度入力が必要になります。

曲名をつける

1 MULTI JOGつまみを回して曲名をつけたい曲を選ぶ

再生中、一時停止中、録音中はそのときに選ばれている曲に曲名がつきます。

2 エディット/ノー（EDIT/NO）ボタンを押してから、MULTI JOGつまみを回して「Name In?」を表示させる

リモコンでは、ネーム（NAME）ボタンを押します。押すと手順3の状態になります。

3 MULTI JOGつまみを押す

イエス（YES)ボタンを押しても操作できます。
カーソルが点滅します。カーソル点滅中にネーム入力を中止するときは、エディット/ノー（EDIT/NO)ボタンを押しながらイエス（YES）ボタンを押す、またはストップ（■）ボタンを押してください。
「ディスク名をつける」の手順3（☞37ページ）と同じ操作で文字を入力します。

名前をつける

4 イエス（YES）ボタンを押して入力を終了する

リモコン（RC-448C）ではネーム（NAME）ボタンを押します。

入力された名前をディスクに書き込むには

ファイナライズしてください。
入力された名前はいったん本機に記憶され、ファイナライズするとディスクに書き込まれます。
また、下記ご注意もお読みください。

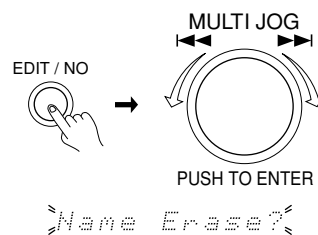
ご注意

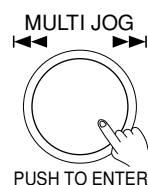
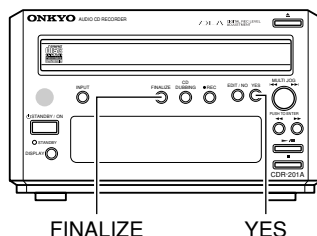
入力された名前は、ファイナライズしないでディスクを取り出した場合、ネーム情報は消去され、再度入力が必要になります。

入力したディスク名、曲名を消去する

本機に記憶している名前をすべて消去します。本機を停止状態にしてください。

1 エディット/ノー（EDIT/NO）ボタンを押して、MULTI JOGつまみを回して「Name Erase?」を選ぶ

Name Erase?

2 MULTI JOGつまみを押す

イエス（YES）ボタンを押しても操作できます。「Complete」が表示されたのち、停止状態になります。CD-RWに書き込まれた(ファイナライズされた)名前を消すには、44ページをご覧ください。

ファイナライズする

ファイナライズとは、ディスクの特別なエリア（PMA）に記憶されたTOC情報（曲番など）や、本機が記憶しているディスクの名前情報をディスクに書き込む操作です。

ファイナライズ後

CD-Rは、CDプレーヤーでも演奏できる状態になります。CD-RWは、CD-RW対応のCDプレーヤーでしか演奏できません。
ファイナライズしたCD-Rディスクは、これ以上録音することも名前をつけることもできません。

---

1 録音が終了したCD-RまたはCD-RWを挿入する

---

2 ファイナライズ（FINALIZE）ボタンを押す

「Finalize?」と表示されます。

Finalize?

---

3 イエス（YES）ボタンを押す

ファイナライズを開始します。
ファイナライズ完了まで、残り時間が表示されます。（約80秒かかります。）
残り時間表示は、目安ですので実際処理が終了する時間は、前後することがあります。

ファイナライズが完了すると

「Complete」と表示され自動的に停止します。

ファイナライズを中止するには

手順3でイエス（YES）ボタンを押す前に、ストップ（■）ボタン（またはエディット/ノー（EDIT/NO）ボタン）を押します。

ファイナライズ後のディスク表示

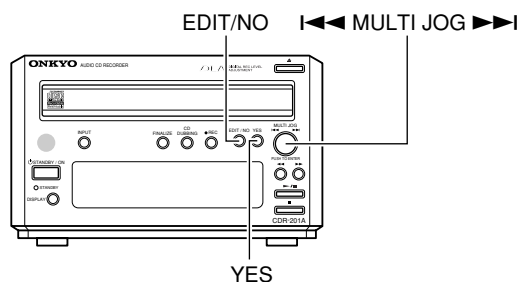
CD-R表示は、CD表示になります。
CD-RW表示は、CD-RW表示のまま FINALIZE表示が追加されます。

ご注意

- ファイナライズ中は絶対に電源を切らないでください。また、電源コードを抜かないでください。ディスクを破損するおそれがあります。
  誤って電源を切ってしまったり、停電になった場合は、ディスクが使えなくなることがあります。
- 録音中、ファイナライズ中、消去中および「PMA Writing」表示中は、本機を揺らしたり、振動を与えたりしないでください。
  音とびしたり、ディスクが使用できなくなることがあります。
- 傷や汚れ、ホコリのあるディスクをファイナライズしないでください。正常に処理されないことがあります。
- ファイナライズ中は、操作ボタンは働きません。

自動ファイナライズについて

CDダビングの場合は、自動ファイナライズの設定ができます。自動ファイナライズ設定を「On」にしておくと、録音終了後に自動的にファイナライズが行われます。（☞24ページ）

記録内容を消去する（CD-RWのみ）

CD-RWディスクは、一度記録した内容を消去して何度も使うことができます。
消去の方法には、次のような種類があります。

■ ファイナライズしていないCD-RWの消去

全曲消去（All Erase）：ディスクのすべての曲を消去します。
最終曲消去（Last Erase）：最終曲のみを記録します。

■ ファイナライズ済みCD-RWの消去

全曲消去（All Erase）：ディスクのすべての曲を消去します。
TOC消去（Unfinalize）：ファイナライズしたCD-RWディスクを、ファイナライズ前の状態に戻します。

■ ディスクの消去（Disc Erase）

ディスク上のすべての情報を消去します。

ご注意

「Disc Error」と表示され、消去が中断したときは、ディスクを取り出してキズや汚れ、ホコリがないことを確認して、再度消去してください。

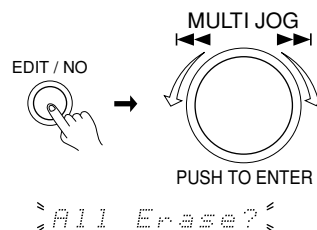
ファイナライズしていないCD-RWの消去

消去したいCD-RWを入れて、本機を停止状態にしてください。

■ 全曲を消去する

この操作を行うと、CD-RWに記録された全曲およびこのディスクに入力された名前(ディスク名、曲名)が消去されます。

1 エディット/ノー（EDIT/NO）ボタンを押して、MULTI JOGつまみを回して「All Erase?」を選ぶ

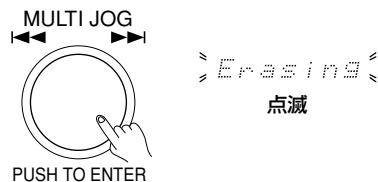
「All Erase?」が表示されます。

All Erase?

2 MULTI JOGつまみを押す

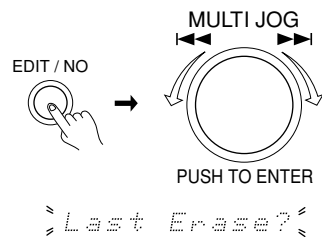
イエス（YES）ボタンでも操作できます。
「All Ers??」が表示されます。

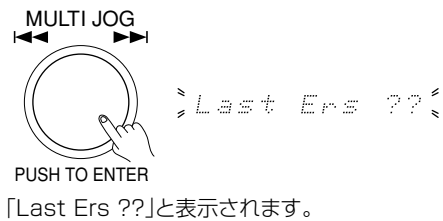
3 MULTI JOGつまみを押す

イエス（YES）ボタンでも操作できます。

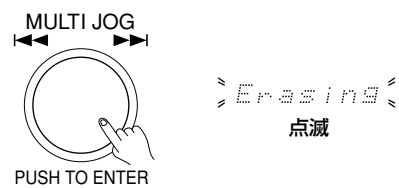
Erasing
点滅

消去が始まります。消去が完了すると、「Complete」が表示されたのち、停止状態になります。

■ 最終曲を消去する

1 エディット/ノー（EDIT/NO）ボタンを押して、MULTI JOGつまみを回して「Last Erase?」を選ぶ

2 MULTI JOGつまみを押す

イエス（YES）ボタンを押しても操作できます。

「Last Ers ??」と表示されます。

3 MULTI JOGつまみを押す

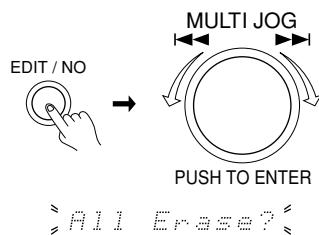
イエス（YES）ボタンを押しても操作できます。

消去が始まります。消去が完了すると、「Complete」と表示されたのち、停止状態になります。

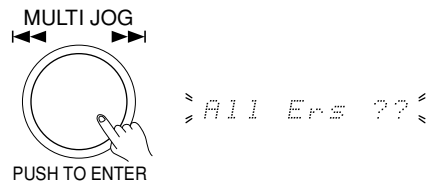
記録内容を消去する（CD-RWのみ）

ファイナライズ済みのCD-RWの消去

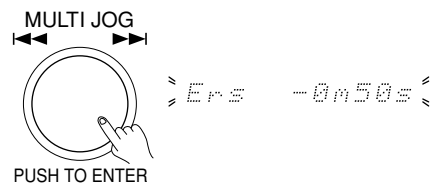
■ ディスクの全曲を消去する

1 エディット/ノー （EDIT/NO)ボタンを押し、MULTI JOGつまみを回して「All Erase?」を選ぶ

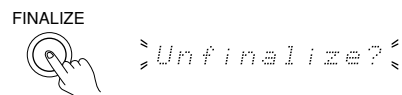
All Erase?

2 MULTI JOGつまみを押す

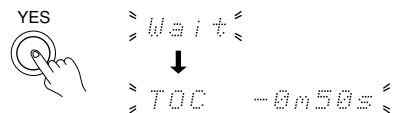
イエス（YES)ボタンを押しても操作できます。

「All Ers??」と表示されます。

3 MULTI JOGつまみを押す

イエス（YES）ボタンでも操作できます。

消去を開始します。消去が終わると「Complete」と表示された後、「Blank Disc」表示になります。
消去完了までの残り時間が表示されます（約1分かかります）。
残り時間表示は、目安ですので実際処理が終了する時間は、前後することがあります。

■ ファイナライズされたディスクをファイナライズ前の状態に戻す（TOC消去）

1 ファイナライズボタンを押す

「Unfinalize?」と表示されます。

2 イエスボタンを押す

アンファイナライズを開始します。
アンファイナライズ完了までの残り時間が表示されます（約1分かかります）。
残り時間表示は、目安ですので実際処理が終了する時間は、前後することがあります。

消去が終了すると

「Complete」が表示されたのち、停止状態になります。

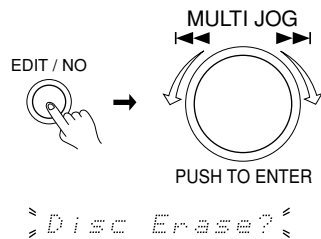
ご注意

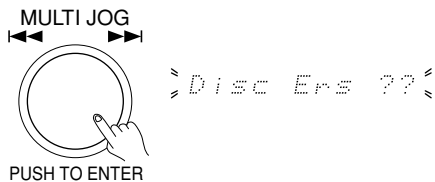
ネーム情報があるディスクをファイナライズ前の状態に戻したとき、再度ファイナライズする前にディスクを取り出すとネーム情報は保持されません。

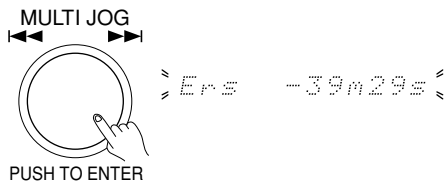
ディスクの消去

1 消去したいCD-RWディスクを入れる

2 EDIT/NOボタンを押して、MULTI JOGつまみを回し、「Disc Erase?」を選ぶ

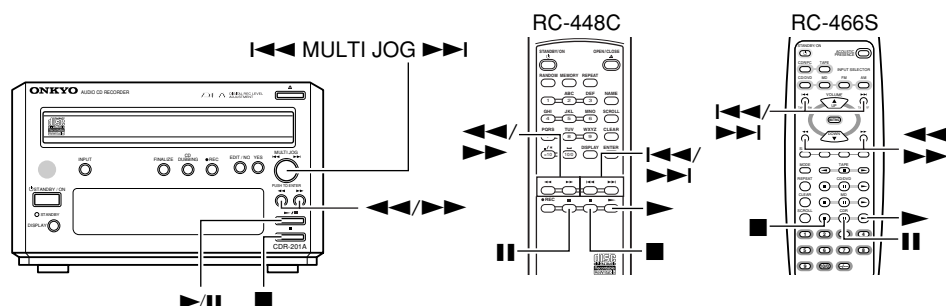
Disc Erase?

3 MULTI JOGつまみを押す

イエス（YES）ボタンを押しても操作できます。
「Disc Ers ??」と表示されます。

4 MULTI JOGつまみを押す

イエス（YES）ボタンを押しても操作できます。
消去を確認する表示になり、消去が始まります。
消去完了まで残り時間が表示されます。

ディスクの最大録音時間の約半分の時間がかかります。
残り時間表示は、目安ですので実際処理が終了する時間は、前後することがあります。
消去が終わると自動的にトレイが開きます。

消去を強制終了するには

■ボタンを約5秒間押し続けます。
ただし消去開始後約2分間は、強制終了できません。その後DISCインジケーターが点滅すると強制終了可能です。
作業を中止したディスクは、正常に消去されていませんので、必ず再度ディスク消去を行ってください。

演奏する

本機でディスクを演奏するには、次のような方法があります。

- 1曲目から演奏する（通常演奏）
- 順序不同で聞く（ランダム演奏）
- くり返し演奏する（リピート演奏）
- 予約演奏する（メモリー演奏）

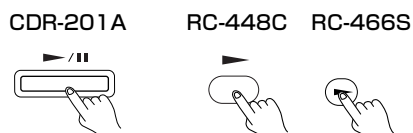
操作の準備

- 電源を入れる。（☞20ページ）
- 本機に音楽CDまたは録音済みのCD-R・CD-RWを入れる。（☞20ページ）

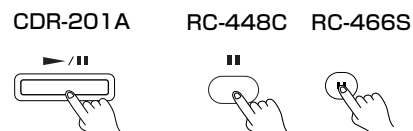
1曲目から演奏する

プレイ/ポーズ（▶/II）ボタンを押す

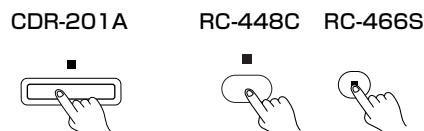
1曲目から演奏が始まります。

CDR-201A　RC-448C　RC-466S

演奏を一時停止するには

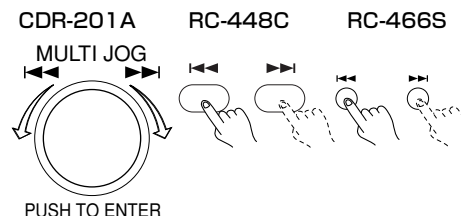
プレイ/ポーズ（▶/II）ボタン（リモコンのポーズ（II）ボタン）を押します。再び演奏するには、プレイ/ポーズ（▶/II）ボタン（リモコンのプレイ（▶）ボタン）を押します。

CDR-201A　RC-448C　RC-466S

演奏を途中で止めるには

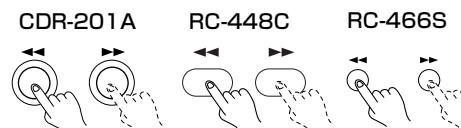
ストップ（■）ボタンを押します。

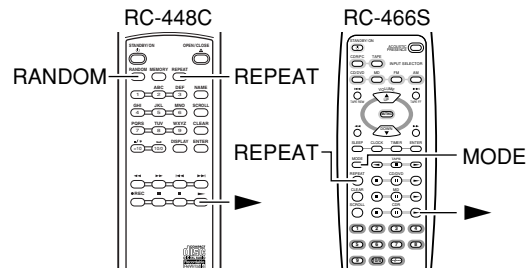
CDR-201A　RC-448C　RC-466S

聞きたい曲を選ぶには

MULTI JOGつまみを左右に回します。
リモコンでは、I◀◀または▶▶Iボタンを押します。
I◀◀:演奏中に押すと、演奏中の曲の頭に戻ります。続けて2回押すと、前の曲の頭出しをします。
▶▶I:押すたびに次の曲の頭出しをします。

CDR-201A　RC-448C　RC-466S

早送り、早戻しするには（サーチ）

◀◀または▶▶ボタンを押します。
◀◀:早戻しします。
▶▶:早送りします。

CDR-201A　RC-448C　RC-466S

聞きたい曲を選ぶには

リモコンの数字ボタンを押すと、聞きたい曲から演奏が始まります。（☞48ページ）

順序不同に演奏する（ランダム演奏）

ご注意

CDもしくはファイナライズされたCD-R、CD-RWのみの機能です。

停止中に、ランダム（RANDOM）ボタンを押す

システムリモコンRC-466Sでは、モード（MODE）ボタンをくり返し押します。
RANDOM表示が点灯します。
プレイ（►）ボタンを押すとディスク内のすべての曲を順序不同で演奏します。

ランダム演奏モードを解除するには

停止中に、ランダム（RANDOM）ボタンを押します。

ご注意

- ランダム演奏中、数字ボタンは働きません。
- RANDOM表示が点灯しているときは、エディット/ノー（EDIT/NO）ボタンは働きません。
- ランダム演奏中は、ディスクの総演奏時間の残り時間は表示されません。

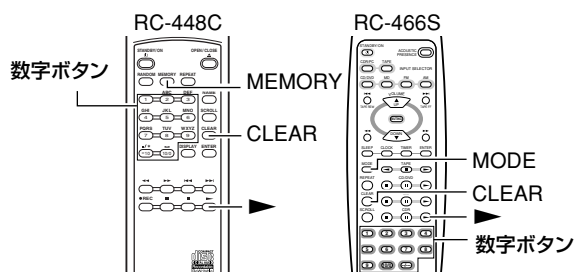
くり返し演奏する（リピート演奏）

リピート（REPEAT）ボタンをくり返し押す

「REPEAT」表示を選ぶと、すべての曲をくり返し演奏します。
「REPEAT 1」表示を選ぶと、演奏中の曲だけをくり返し演奏します。

リピート演奏モードを解除するには

REPEAT表示が消えるまで、くり返しリピート（REPEAT）ボタンを押します。

- ランダム演奏中にリピート（REPEAT）ボタンを押すと、演奏中の曲または全曲を、順序不同にくり返し演奏します。
- メモリー演奏中にリピート（REPEAT）ボタンを押すと、演奏中の曲または予約した曲をくり返し演奏します。

予約演奏する（メモリー演奏）

聞きたい曲だけを選び、聞きたい順に演奏できます。32曲まで予約できます。CDもしくはファイナライズされたCD-R、CD-RWのみの機能です。

1 停止状態で、メモリー（MEMORY）ボタンを押す

システムリモコンＲＣ-４６６Ｓでは、モード（MODE）ボタンをくり返し押します。

MEMORY表示が点灯します。

2 聞きたい曲の数字ボタンを、聞きたい順に押す

11曲目以上を選ぶには（99曲目まで）

RC-448C: [>10]ボタンを押して10の位の数字ボタンを押してから、続く位の数字ボタンを押します。
例）35曲目:[>10]+[3]+[5]

RC-466S: [--/---]ボタンを押してから10の位、1の位の数字ボタンを押します。
例）35曲目:[--/---]+[3]+[5]

予約内容を確認するには

◄◄/►►を押します。

本体のMULTI JOGつまみを回して、聞きたい曲を選び、つまみを押して決定することもできます。

3 プレイ（►）ボタンを押す

予約順に演奏が始まります。

メモリー演奏を止めるには

ストップ（■）ボタンを押します。

メモリー演奏モードを解除するには

停止状態で、メモリー（MEMORY）ボタンを押します。

予約内容を取り消すには

停止状態でクリア（CLEAR）ボタンを押します。
押すたびに、最後の予約曲から取り消されます。

ご注意

メモリー演奏中、数字ボタンは働きません。
また、ＭＥＭＯＲＹ表示が点灯しているときは、エディット/ノー（EDIT/NO）ボタンは働きません。

メモリーしたときの総演奏時間表示について

メモリーした曲の総演奏時間が100分をこえているときは、「--m--s」と表示されます。

タイマー演奏する（システム操作）

R-801Aとシステム接続すると、タイマー演奏ができます。
タイマーセットの方法は、R-801Aの取扱説明書をご覧ください。

1 再生用ディスクを入れる

2 R-801Aのタイマーを設定する

メッセージ一覧

メッセージ	解説	参照
Open	トレイを開けます。	―
Welcome	トレイを閉めます。	―
Rec Setup	録音のため初期設定中です。しばらくお待ちください。	25
TOC Reading	ディスクの内容を読み込んでいます。しばらくお待ちください。	―
PMA Writing	TOC データをディスクのPMA（プログラム・メモリー・エリア）に記録中です。 この表示がでているときには決して電源を切らないでください。	21
Wait	ファイナライズをするとき、ファイナライズ前の状態にするとき、名前情報の読み込み、書き込みを行っています。	41、44
Erasing	全曲または最終曲を消去しています。 しばらくお待ちください。	42、43
No Track	曲は入っていませんが、ディスク名は入力されています。	―

その他使用中の不具合を検出しますと文字表示を行ないます。
上記以外の文字表示については次ページをご覧ください。

故障?と思ったら

本機が正常に動作しないときは、この表を参考にしてお調べください。これらの処理をしても直らないとき、これ以外の症状のときは、電源コードをコンセントから抜いて「お名前」「おところ」「電話番号」「製品名（CDR-201A）」「故障状況」をできるだけ詳しくお買い上げいただいたお店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。

自己診断機能について

本機は自己診断機能を持っていますので、動作中に不具合を検出すると表示部に下記のようなメッセージを表示します。

表示	原因	対応
Disc Error	• ゴミ、汚れ、キズまたは振動によって停止した。 • ディスクが表裏逆に入れられている。	• ディスクにゴミ、ホコリ、キズがないかディスクを取り出して確認してください。 • ディスクを取り出して確認してください。 正しくディスクを挿入しなおしても、くり返し表示する場合は電源コードを再度入れなおしてください。それでもくり返し表示する場合は、当社サービスステーションにご連絡ください。
System Err. 点滅表示	ノイズや静電気などでシステムに異常が発生した。	電源コードを再度入れなおしてください。 それでもくり返し表示する場合は、当社サービスステーションにご連絡ください。
Mecha Error	メカに異常が発生した。	ディスクを取り出して確認してください。 ディスクが取り出せない場合は、電源コードを再度入れなおしてください。それでも繰り返し表示される場合は、オンキヨーサービスステーションにご連絡ください。
Rec Error	録音中に異常が発生した。	ディスクにゴミ、ホコリ、キズがないかディスクを取り出して確認してください。
OPC Error	OPC(*1)処理中に異常が発生した。	ディスクにゴミ、ホコリ、キズがないかディスクを取り出して確認してください。ディスクに問題があるときは、録音可能なディスクに入れかえてください。

録音動作時関連のインフォメーション

表示	原因	対応
Cannot Copy	コピー・ガード信号(SCMS)を含むデジタル信号が入力されている。	アナログ入力で録音するか複製可能な音楽信号を録音してください。(☞28ページ)
D. In Unlock	• デジタル入力がさえぎられている。 • CD-ROMなどのデータが入力されている。	• 演奏側のプレーヤーが動作しているか、デジタルケーブルがきちんと接続されているか確認してください。(☞17ページ) • ソースが通常の音楽信号かどうか確認してください。(☞21ページ)
Rec Setup	録音待機中です。	表示が消えるまでお待ちください。

録音動作時関連のインフォメーション（続き）

表示	原因	対応
Disc Full	ディスクの録音時間一杯に録音されているか、すでに 99 曲録音されているため、これ以上録音ができない。	新しいディスクに入れ替えてください。
Pro Disc	「FOR CONSUMER」表示のない音楽用以外の CD-R ディスクか CD-RW ディスクが挿入されている。	取り出してディスクを確認してください。 「FOR CONSUMER」または 「FOR MUSIC USE ONLY」表示のある CD-R ディスクか CD-RW ディスクを挿入してください。（☞18 ページ）
CD Dub Fail	• 入力が Digital In 1 以外になっているので CD ダビングできない。 • 組み合わせている機器(INTEC155 シリーズ)のカセットデッキや MD レコーダーが録音中または録音待機中になっているので CD ダビングできない。 • 接続が正しく行われていないので CD ダビングできない。	• 入力は Digital In 1 を選んでください。 • 他の機器の録音または録音待機状態を解除してください。 • RI ケーブル、オーディオ用ピンコード、光デジタルケーブルの接続を確認してください。
Cannot Rec	• ファイナライズ済みの CD-R に録音しようとしたので録音できない。 • ファイナライズ済みの CD-RW に録音しようとしたので録音できない。	• 新しい CD-R に入れ替えてください。 • 新しい CD-RW に入れ替えてください。または、ディスクをファイナライズ前の状態に戻してから録音してください。

演奏関連、名前入力時、その他のインフォメーション

表示	原因	対応
Blank Disc	未録音ディスクが挿入されている。 未録音ディスクを演奏させようとした。	挿入したディスクは未録音 CD-R ディスクか CD-RW ディスクです。録音は可能ですが、演奏はできません。
No Disc	ディスクを入れないで演奏させようとした。	トレイを開けて、ディスクが挿入されているか確認してください。
Name Full	1000 文字をこえてディスクに名前を入力しようとした。	1 枚のディスクに入力できる文字数は 1000 文字までです。(☞36 ページ)
Full	1 つの名前に対して 24 文字をこえて入力しようとした。	1 つの名前に対して入力できる文字数は 24 文字までです。(☞36 ページ)
Memory Full	32 曲をこえてメモリーしようとした。	メモリーできるのは 32 曲までです。
Cannot Edit	• 挿入ディスクがＣＤまたはファイナライズ済みのＣＤ - Ｒの時、編集しようとした。 • ファイナライズ済みのＣＤ - ＲＷディスクで、メモリー演奏・ランダム演奏モードにしているときに編集しようとした。 • ファイナライズ済みのＣＤ - ＲＷディスクをリモコンでネーム編集しようとした。	• メモリー演奏・ランダム演奏モードを解除してください。 • ネーム編集は、ディスクをアンファイナライズしてから行ってください。
DAO Disc	パソコンなどを使って DAO 方式(*2)で記録したディスクをアンファイナライズしようとした。	本機ではアンファイナライズできません。
Not Audio	録音できない信号が入力された。	録音可能なオーディオ信号を入力してください。(☞21 ページ)
Data Disc	ディスク上に DATA トラックが記録されている。	記録可能なディスクに入れかえてください。
PCA Full	PCA(*3)の残りがないため、追加録音できない。	録音可能なディスクに入れ換えてください。
PMA Full	PMA の残りが無いため、追加録音できない。	録音可能なディスクに入れ換えてください。

***1 OPC (Optimum Power Control)／*3 PCA (Power Calibration Area)**

ファイナライズされていないディスクを本機に入れると、ディスクに最適なレーザーパワーを計算するために、試験的にディスクの特定エリアに書き込みを行います。この処理のことをOPCといい、書き込みエリアのことをPCAといいます。

***2 DAO (Disc At Once)**

記録方式のひとつです。データの追記はできません。

症状	原因	対応の仕方
電源が入らない。	電源コードがコンセントから抜けている。	電源コードをコンセントに差し込んでください。
	電源コードをつないだ機器(ステレオアンプ、オーディオタイマーなど)の電源が落とされている。	電源コードにつないだ機器の電源を入れてください。
スピーカーから音が出ない。	接続が正しくされていない。	「他の機器との接続」に従って正しく接続してください。(☞16 ページ)
録音できない。	接続が正しくされていない。	「他の機器との接続」に従って正しく接続してください。(☞16 ページ)
	ファイナライズ済みの CD-R ディスクか CD-RW ディスクを使用している。	ファイナライズしていないディスクを使用してください。
	入力切り替えが正しく選択されていない。	接続している入力に切り替えてください。(☞25、27～29、31 ページ)
	録音レベル調整つまみが絞られている。	録音レベルを適度な大きさに上げてください。(☞26 ページ)
録音すると音が歪む。	接続が正しくされていない。	「他の機器との接続」に従って正しく接続してください。(☞16 ページ)
	テレビからの影響を受けている。	テレビの電源を切るか、またはテレビから本体を離してしください。
	ディスクが破損しているか割れている。	他のディスクを使ってください。
	録音レベルが高すぎる。	録音レベルを下げてください。(☞26 ページ)
	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
リモコン操作できない。	リモコンの電池が消耗している。	リモコンの電池をすべて新しいものと交換してください。(☞9 ページ)
	リモコンと本機の間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。(☞9、10 ページ)
	リモコン操作範囲の外で操作している。	リモコンの操作範囲で操作してください。(☞9、10 ページ)
録音した CD-R ディスクが他のプレーヤーで演奏できない。	録音後、ファイナライズ処理をしていない。(本機でこのディスクをかけると CD-R インジケーターが点灯する。)	ファイナライズ処理を行ってください。(☞41 ページ)

ご注意　**製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害(CDレンタル料等)については保証致しかねます。大事な録音をするときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音いただきますようお願いいたします。**

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて約5秒後に改めて電源プラグを入れてください。それでも正常に動作しない場合は、スタンバイインジケーターと表示部が消灯するまで、STANDBY/ONボタンを押し続けてください(約5秒間)。

主な仕様

形式	コンパクトディスクレコーダー
録音再生時間	最長　約80分（80分ディスク使用時）
D/A コンバーター	アドバンスド・マルチビット方式
デジタル・フィルター	8倍オーバーサンプリング
接続	アナログ入力1
	アナログ出力1
	デジタル入力2（光学式）
	デジタル出力1（光学式）
周波数特性	10 Hz － 20 kHz
再生時	
ひずみ率	0.012% (1kHz)
ダイナミックレンジ	85 dB
SN比	98 dB
録音時	
ひずみ率	0.015% (1kHz)
ダイナミックレンジ	85 dB
SN比	82 dB
チャンネル・セパレーション	75 dB (再生時)
ワウ・フラッター	測定限界以下
出力レベル	2.0 V r.m.s. (アナログ)
電源	AC100V、50/60 Hz
外形寸法(巾×高さ×奥行き)	155 mm(W) × 94 mm(H) × 302 mm(D)
質量	2.7 kg

性能および外観は、性能向上のため予告なしに変更することがあります。

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お 客 様 ご相談窓口	**カスタマーセンター**　受付　9:30～17:30　(土日祝、弊社休日除く) **■カタログのご請求、製品についてのご相談** ＊e-mail：ホームシアター/オーディオ製品→customer@onkyo.co.jp マルチメディア製品　→mmcadmin@onkyo.co.jp ＊TEL：ナビダイヤル0570-01-8111(全国どこからでも市内料金で通話いただけます) または072-831-8111(携帯電話、PHSから)へどうぞ。 ＊FAX：072-831-8124　〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ→http://www.onkyo.co.jp

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ→http://www.e-onkyo.com

修 理 窓 口　修理のご依頼は取扱説明書の「故障？と思ったら」の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障でお困りの場合は、下記へご相談ください。

パソコン用スピーカー以外のマルチメディア製品は、

マルチメディアサポートセンター	TEL.072-831-7305　FAX.072-831-8124 〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

ホームシアター/オーディオ製品とパソコン用スピーカーは、

札幌サービスステーション	TEL 011-747-6612　FAX 011-747-6619 〒001-0028　札幌市北区北28条西5-1-28　トーシン北28条ビル
仙台サービスステーション	TEL 022-297-0571　FAX　022-257-7330 〒984-0051　仙台市若林区新寺4-9-5　第二丸昌ビル 1F
宇都宮サービスステーション	TEL 028-634-4307　FAX 028-634-4308 〒320-0831　栃木県宇都宮市新町2-7-7
大宮サービスステーション	TEL 048-651-8612　FAX 048-651-9137 〒330-0034　埼玉県さいたま市土呂町2-29-2　高安ビル 1F
東京サービスセンター	TEL 03-3861-8121　FAX 03-3861-8124 〒111-0054　東京都台東区鳥越1-2-3　ハマスエビル
八王子サービスステーション	TEL 0426-32-8030　FAX 0426-36-9312 〒192-0914　東京都八王子市片倉町358番地
横浜サービスステーション	TEL 045-322-9342　FAX 045-312-6603 〒220-0072　横浜市西区浅間町1-13　共益ビル5F
名古屋サービスステーション	TEL 052-772-1229　FAX 052-772-1331 〒465-0013　名古屋市名東区社口1丁目1001番
大阪サービスセンター	TEL 06-6576-7620　FAX 06-6576-7604 〒552-0013　大阪市港区福崎2丁目1番地49号
広島サービスステーション	TEL 082-262-3315　FAX 082-262-6571 〒732-0057　広島市東区二葉の里2-8-28
高松サービスステーション	TEL 087-868-5662　FAX 087-868-5672 〒760-0079　高松市松縄町44-8　西原ビル1F
福岡サービスステーション	TEL 092-418-1357　FAX 092-418-1358 〒812-0006　福岡市博多区上牟田3-8-19　みなみビル202

2001年6月現在　お客様相談窓口、修理窓口の名称、住所、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。

F -1

修理について

■保証書
この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは
意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、ただちに電源プラグを抜いてから、修理を依頼してください。

■保証期間中の修理は
万一、故障や異常が生じたときは商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または、当社サービスステーションにご依頼ください。
詳細は保証書をご覧ください。

■修理を依頼されるときは
「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名(CDR-201A)」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しく、お買い上げ店または当社サービスステーションまでご連絡ください。

■保証期間経過後の修理は
お買い上げ店または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について
当社では本機の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または当社サービスステーションにご相談ください。

ご購入された時にご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日　:　　年　　月　　日
ご購入店名　:
Tel.　:　(　　)
メモ:

本社／大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

http://www.onkyo.co.jp/

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先:
お買い上げの販売店もしくはオンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。
● 東京サービスセンター ☎03（3861）8121　　● 大阪サービスセンター ☎06（6576）7620

Printed in Japan
SN 29343239
D0109-1